

紫波町図書館10周年記念誌

ごあいさつ…………… 2

第1章

館内案内……………	6
紫波町図書館の基本方針……………	12
企画展示・イベント……………	13
児童展示・イベント……………	17
トピックス……………	19
831の日……………	20
デザインのはなし……………	24

第2章

10年の沿革……………	26
10年間の統計……………	32
メディア掲載一覧……………	36
児童企画展示一覧……………	40
企画展示一覧……………	42
イベント一覧……………	46

あとがき…………… 54



紫波町図書館開館 10周年に寄せて

紫波町長

くまがい いずみ
熊谷 泉



紫波町図書館は平成24年8月、紫波中央駅前開発整備事業「オガールプロジェクト」の一環で整備された民間施設オガールプラザ内に、町民待望の公立図書館として誕生しました。「オガール」は、成長を意味する方言「おがる」と「駅」を意味するフランス語“Gare”を組み合わせた造語であり、紫波中央駅を「紫波の未来を創造する出発駅」として捉え、この駅前周辺のエリアを出発地点として持続的に成長していくようにと願いが込められています。町民が集い、学び、成長していく情報拠点である図書館は、まさにこのオガールエリアを象徴する施設であります。

当館は、規模は大きくありませんが、町の基幹産業である農業の関連図書や地域資料の充実、司書による工夫を凝らした企画展示やイベント開催などが魅力となり、多くの方にご来館、ご利用いただいております。

さまざまな取り組みが認められ、平成28年には、図書館の先進的な活動や市民と取り組む創造的な活動を評価する「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016」で優秀賞をいただきました。また、令和元年6月に開催された50か国以上から約2万人の図書館関係者が集まる「アメリカ図書館協会（ALA）年次大会（ワシントンD.C.）」のジャパンセッションでは、当館について発表の機会をいただき、応援に行った私もその規模の大きさに圧倒されたことを覚えています。この貴重な経験は、現在の当館の運営に活かされております。

この10年間で社会の状況は大きく変化し、現代は「予測困難」で「正解のない」時代といわれています。このような中で、誰もが学びたいときに学び、それぞれにとっての正解を模索し、成長しながら人生を歩んでいくための開かれた学びの場として、図書館は重要な役割を担っています。当館は今後も、時代の変化に対応しながら、町民の皆様の「知りたい」「学びたい」「遊びたい」に応える、頼りになる町の情報拠点としてより一層成長してまいります。

最後になりましたが、当館をご利用いただいている皆様、そして当館の運営にご協力いただいている皆様に心から御礼を申し上げ、開館10周年に当たってのご挨拶といたします。

進化し続ける紫波町 図書館にエール！

教育委員会
教育長

たくみ じゅん
侘美 淳



紫波町図書館が開館10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

開館に至るまでの関係者の皆様には、目的・企画・施設設備・運営方針等、筆舌に尽くしがたい議論やご苦労があったと推察します。初志貫徹、そのご尽力に敬意を表します。また、「十年一昔！」ではありますが、この10年間に蓄積してきた運営手法や築き上げてきたステータスは、「おらほの町の図書館」として、揺るぎのないものとなっています。

町図書館は当初から農業支援コーナー設置、産直マルシェとの連携、出張図書館など、ビジネス支援が特徴の一つです。また、情報交流館全体と相まって、情報拠点としてもその有用性が大きいと思います。改めてこの10年、司書の皆様・運営スタッフはもとより、図書館に通い、使いこなしている町民・近隣の皆様にも敬意を表します。

紫波町には昭和50年に制定された、全ての町民が目指すべき目標である「町民憲章」があります。キーワードは「健康保持・自然との共生・法令順守・教養醸成・交流促進」の5点です。今で言うSDGsにも匹敵する素晴らしい内容であると思います。町の図書館や教育委員会等が諸事業を推進していくことは、ひとえに町民憲章の実現のためであります。とくに図書館は、町民の教養醸成の中核であり、「知の集積や発信」「人が社会で生きていくための力＝教養の獲得」に資する拠点として、これからもその果たす役割が大きいと考えます。

紫波町教育委員会は「紫波町民の幸福や健康（well-being）」を願い、そのことを体現していくことができる人材育成を担当している部署であります。その実現に向け、紫波町図書館も重要な責務を担っております。来るべき10年も両者の連携を深くし、町民の幸せを醸成してまいりましょう。紫波町図書館の益々のご隆盛を祈っています。

架橋する図書館

初代紫波町
図書館長

く どう たくみ
工藤 巧



紫波町図書館開館10周年おめでとうございます。紫波町図書館の始まりは、野村胡堂からの寄付を受けて中央公民館の一画に開設した胡堂文庫ですが、町村合併以前に遡ると、大正11年4月13日に日詰町立図書館および赤石村立図書館が、開設されています。更に遡ると明治39年8月彦部小学校に日露戦役記念の「図書縦覧所」が付設されており彦部が始まりと言うことができます。ちなみに『彦部郷土誌』には野村胡堂ら尋常小学校同窓会委員が図書縦覧所開設の申し合わせをしたとあり、胡堂らの活動が紫波町初の図書縦覧所開設につながったものと考えられます。

それからおよそ百年後、町民待望の図書館法に基づく本格的図書館が開館しました。住民の要望活動もあり図書館は幾度となく発展計画に計上されましたが、町には学校が多く校舎や体育施設の整備が優先されたので、なかなか実現できず画餅と化していました。その様なおり、一時中断していた紫波中央駅前開発が公民連携方式で行われることになり、その中核施設としてようやく図書館が建設されることになりました。事業に先立って行われた説明会では、「図書館より道路整備を」の声も出て一抹の不安がありましたが、開館以降は「図書館不要論」は一切無く、むしろ「できて良かった」の声が圧倒的に聞こえてきました。BGMが流れ天井が高く明るい館内であること。読みたい本が目の前にたくさんあること。何よりも司書の笑顔が、利用者の皆様には新鮮に感じられたことでしょう。

そして10周年となりました。オガールプロジェクトがあつての開館でしたが、今では図書館の無いオガールは考えられません。基本計画を大きく上回る来館者数が、そのことの証です。限られた予算の中で、バランスを考慮しながら読んで欲しい本を選ぶこと。図書館の枠を超えての企画展示。丁寧なレファレンス（調べもの）など基本的な図書館サービスの充実や、日中に来館できない人々のために図書館をより身近に感じられるように「夜のとしょかん」などのユニークなイベントを企画したことが受け入れられたと思っています。飲み物を持ち込みできる閲覧カウンターやお弁当を食べながら本を読める読書テラスがあり、良い意味で既成概念を打ち壊してきました。図書館は、人と本、人と情報、そして人と人をつなぐコミュニケーションの場です。また新たなコミュニティが生まれる場でもあります。豊かな人生と社会の創造のために、市民の皆さん図書館におでっくなんせ。

図書館はだれでも利用できます。一部の人だけのものではありません。次の10年は、全ての市民を包摂する図書館に発展して欲しいと心から願っています。

第1章

紫波町図書館の取り組み

紫波町図書館内の見どころなどをコラム形式で紹介いたします。新たな発見ができ図書館の利用がもっと楽しくなります。

当館は、コミュニケーションを土台として、情報と人、人と人をつなぐため、日々奮闘しています。

館内案内

「図書館＝本を借りられる場所」のみとするならば、ここは私が今まで出合ってきた図書館というもののイメージをくつがえてくれる存在だ。そんな私こと、いち利用者のおまのさくやが、愛すべき紫波町図書館を「さくコラム」でご案内します。



おまのさくや

紫波町図書館に小隠れこみ
移住してきたエッセイスト。
利用者目線で「さくコラム」を執筆。

「知りたい」に伴走してくれる

「レファレンス・サービス（調査・相談）」では、欲しい資料、知りたい情報などを司書さんに相談できる。全国から本を取り寄せできるのはもちろん、本やインターネットなどの情報に限らず時には団体・人も紹介してもらえる。

レファレンス・サービスに対応する司書さんが言う。「本当に、さまざまなことを聞かれます。その全部が面白くて。謎解きをしているような気持ちです。その方の知りたいことから、一緒にお調べしていくうちに、その方の人生にほんの少し伴走させていただくような気持ちになります。」



図書館に入ってすぐ、目が合った司書さんが笑顔で「こんにちは」と微笑みかけてくれた。それだけで、なんだか歓迎されているような気持ちになった。



入り口近くから奥に行くにつれ、本の対象年齢が上がっていき、にぎやかな空間から静かな空間へのゆるやかなグラデーションがつくようになっている。

絵本の多くが表紙が見えるように並べられているのは、表紙の絵を見て直感でお子さん本人が手にとって選べるようにという工夫が込められている。

アーチ状にくねった棚の、絵本の森をくぐり抜けると赤ちゃん・子ども向けのコーナーに出る。



コミュニケーションで解決する

ある日、ぐずり始めたお子さんの手を引いて、お母さんが慌てて図書館を出ようとしたところに、司書さんが「どの本が好きなの？」とやさしく話しかけているのを見かけた。静かにして、という圧力ではなく、コミュニケーションで解決する。そういえば、「ここで●●しないでください」という禁止の貼り紙が見当たらない。



「赤ちゃんが泣いちゃうのは自分で制御できないし、大人の方でも、どうしても声を抑えられない人もいます。社会が色々な人を受容できるようになればいいと思うのですが、理想の社会はすぐに作れなくても、図書館の中からならできますよね」と話す司書さんの言葉が耳に残った。



「あ、音楽が流れている」

館内には、うっすらと音楽が流れている。そのおかげで、館内では大人も子どもも、小声ながらおしゃべりをしている。人と人との交流は大事な情報であるからこそ、館内でちょっとした立ち話ができる環境が用意されているのだ。



「一般企画展示」からはじまること

フロアを中心に展開されている一般企画展示コーナー。毎回テーマに応じて、地元の有識者を司書さん自らが訪ねていき、その人たちからのおすすめ本なども集めて提示している。有識者からの声の積み重ねによってそれぞれの棚は専門性を増し、充実していく。

2021年の夏には、コロナ禍で遠出が難しい時勢のなかで、身近な自然観察をテーマに、花・鳥・虫・月・石、それぞれの専門家や愛好家の声を集めた企画展示を開催。

石好きの小学生・^{かつやまそう た}勝山想太くんから「自分が拾った石がどういうものかを知りたい」という質問が寄せられたのをきっかけに、後日、石の専門家である^{がまた さとし}蒲田理さんと直接お話ができる機会が設けられた。名前がわからないけれど収集した石は自分の感覚で箱に分類している、という想太くんに対し「それでいいんです。すべては分類からはじまります。自分の感覚で分類するのも大事なことです」と蒲田さん。想太くんにとってはたくさんの疑問が解けた日でもあり、新たな知識の入り口に立った日でもあったよう。



農業支援コーナー

農業について知りたくなったらここへ。農業支援コーナーにあるパソコンでは、専門のデータベース「ルールル電子図書館」がいつでも誰でも無料で使用可能。病害虫、登録農薬、加工食品などの農業関係の情報を簡単に調べることができる。



「好き」も応援してくれる姿勢

併設する「情報交流館」には立派な音楽スタジオがあり、図書館には教則本やバンドスコアなども充実している。「ピアノを弾きたい」と思ったら、ここで楽譜を借りてスタジオを借りればすぐに実現できる。「がんばれ」、「お好きなように」という温かい励ましのような姿勢をじんわり感じる。



滞在が楽しい図書館

図書館ですることといえば、本を探すこと・借りること・読むこと・調べること…など。課題や必要に迫られて訪れるにせよ、暇つぶしにせよ、何をするにも居心地の良さってやはり重要だ。

1階の窓際にある閲覧カウンター席には、産直などで購入した生花が毎日手入れされている。そしてこの席は飲み物OK。



岩手・紫波の本

「酒のまち・紫波」の資料や、地域の歴史や民話、郷土芸能にまつわるものや行政資料など、個人や自主団体による発刊物に至るまで、地域に関する資料は積極的に保存されている。



面出しの秘密

表紙が見えるように並べられた“面出し”の本をつい手に取ってしまうのにも何か秘密があるような気がして、司書さんに聞いてみた。「新刊コーナーから通常の棚に移行したばかりの本、今読んでいただきたい・話題になっている本などを優先的に並べています。

絵本の棚では、いつの時代の子供たちも夢中になるもの、その日の天候や、季節ならではのものを組み合わせています。本棚は、ぬか床のようなものと教わりました。毎日手をかけることで良くなっていく。誰かの意識に留まるように司書それぞれの視点も加味して入れ替えています。」

本棚は、ぬか床。一人の手ではなく複数の司書さんの手によって混ぜられているからこそ、それぞれの本の新鮮度も落ちず棚のラインナップは味わいが増しているようだ。

「ブラウジングもおすすめですよ」と、司書さん。特定の情報を検索するのではなく、偶然の発見を期待して漫然と棚を眺めながら歩くことをそう呼ぶのだそう。

週末に読む本をなんとなく探しているとき、レポートのテーマが決まらないとき、家族の悩みがあるとき…。背表紙を眺め読みしたり、雑誌を拾い読みしたり、立ち読みしはじめた本から思わぬ興味や答えにたどりつくこともあるのが面白い。



月に1回の移動図書館「かたくり号」

紫波町は東西に長く、面積は約239km²。そんな町に、図書館が1つ。

離れた場所にお住まいの方にも本を手にとってもらいやすいように、「かたくり号」は54年間ものあいだ、たくさん本を乗せて、人と本をつないでいる。

令和3年度は、ステーション17カ所を巡回。



飲食OKのスペース

2階にはゆったりした「読書テラス」があり、そこではなんと飲食もOK。図書館の隣には産直「紫波マルシェ」があるので、ここでお昼休みにお弁当を食べつつ読書する人もいます。



お気に入りの場所を探す

館内にあるさまざまイスに座ってみると、見える景色も本の読み心地も少しずつ変わる。

あなたのお気に入りはどこですか？



紫波町図書館の基本方針

コンセプト 「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する図書館

「紫波町図書館基本構想・基本計画」平成22年3月より

1. あらゆる「知りたい」に応え、潜在的、将来的な利用を見据えた情報を提供します。
2. 「学びたい」に応え、活力あるまちづくりに役立つ情報や、町民が自力で課題解決するための情報を提供します。また、まちの歴史・風土・文化に出会い、発信する場を提供します。
3. 「遊びたい」に応え、知的好奇心を満たし、文化的、娯楽的活動などによる新しい創造と交流が生まれるための情報を提供します。

7つの目的

「紫波町図書館基本構想・基本計画」平成22年3月より

1. 「たくさんの情報に出合える場」であること
2. 「次代を担う人づくりの場」であること
3. 「まちの歴史・風土・文化に出合える場」であること
4. 「活力あるまちづくりを支援する場」であること
5. 「協働の推進に寄与する場」であること
6. 「人に出会える場」であること
7. 「新しい自分を発見できる場」であること

運営三本柱

1. 子どもたち（0歳から高校生まで）と、本をつなぐ。
2. 紫波町に関する地域資料を、収集・保存・提供・活用する。
3. 紫波町の産業支援をする。

企画展示・イベント

左記基本方針に沿って様々な展示やイベントを企画しています。

一般企画展示

毎月の企画展示やイベント、講座などは、「町で何が起きているか」「どんな課題があるか」「どうしたら解決できるか」主にこの三つの考え方をもとに、目的ごとに何を行うべきか手段（企画展示、イベント、講座など）を決め、テーマに合わせて地域に情報を探しにいたり、連携先を決めたりして行っています。町内外の個人や団体から相談や連携を持ち掛けられて行う場合もあります。

まずは「知る」ことから。いま町で起きていること、町の人のこと。共通の課題になっていること。司書がふだんの会話や情報から今知ってほしいテーマを設定し町に情報を取りに行きます。本に限らず、関係者へのインタビューや統計、ときには「モノ」まで。展示を見た人などから情報がさらに追加されていき、最終日に見ごろを迎えます。

▶シリーズ「わたしの1冊」

開館記念日の8月31日にあわせて毎年開催。その年ごとに町の旬なテーマを選び、テーマに関係する町の人などから「おすすめの1冊」を伺い、その活動とともに紹介。



▶町の歴史・文化・産業を知る

過去から現在まで、町にはたくさんの地域独自の歴史や文化が眠っています。それこそが紫波町のアイデンティティ。可視化されていない「人」や「団体」が持つ情報を掘り起こして、紫波町の宝を未来へつなぐ第一歩となる展示。



▶町のできごとを知る

町の大きな出来事や、今知りたい、話題になっていることなど、関係者の思いを含めて深掘りします。時には体験できるコーナーや現物も登場します。



▶シリーズ「からだと向き合う」

毎年1回のシリーズ企画。自分や家族、友人などにおこる身近な不安や悩みなのに、なぜか相談しにくい病気や健康のこと。専門機関や医療関係者から得た情報、信頼できる対処法などのヒントが得られます。



▶本から新しい世界に出会う

本は森羅万象、古今東西に開いた窓。予期せぬ出会いが本の数だけあるのが図書館のよいところ。新しい世界との出会いやきっかけを、いろんな切り口からご用意しています。



町の産業を支援する（農業支援）

運営の3本柱の一つ「産業支援」。町の産業基盤となっている農業を支援する取り組みを行っています。



近年は、農作物に対する鳥獣被害の相談が増加したことから、2021年には町農政課と「夜のとしょかん、農業編。獣害対策の秘訣、教えます!」を実施。町内初の獣害対策モデル地区で成功事例となった「赤沢2区」の池田毅区長、岩手大学農学部山内貴義准教授、同大学院修士課程近藤雄太氏、農政課職員が登壇し、成功の秘訣を語り、参加者と活発な意見交換がありました。



併せて開催した企画展示では、実際に使われている電気柵や、農政課や環境課より実際の被害写真や統計データ、獣害対策担当者へのインタビューやおすすめ本、捕獲のためのくくりワナなども展示。被害の大きな5つの鳥獣に絞り、紫波町の被害の現状と防除の仕方を伝える内容となりました。



翌年1月～3月に町内7か所の地区公民館で、出張としょかん「知って防ごう! 鳥獣被害」を農山漁村文化協会、農政課、環境課とともに開催。個人ではなく地域ぐるみで対策するための方法を映像を中心に紹介しました。



夜のとしょかん

「のみもの持ち込み、おしゃべり自由」の参加型トークイベント。日中働いていて図書館への来館が難しい方など向けに、町で暮らす楽しさや、知的好奇心を満たしていただくために、閉館後、さまざまなジャンルのゲストスピーカーを招いて行います。2014年から年4回、2023年3月で第27夜まで開催。(農業編やオガール祭り編も含め全33回開催)



その他開催イベント

企画展示や町内外各施設と連携した「認知症相談会」「就労相談会」などのイベントのほか、書店員を迎え、紫波町の4酒蔵とワイナリーのお酒、町内飲食店の酒粕料理を片手に本の話をする「book bar」、地域にかかわる歴史研究者などの話から地域の歴史を紐解く「地域を知る講座」、作家や出版社、書店員によるトークイベント「面白い本と出会う方法」、ミステリー作家と編集者による「ミステリーが生まれるとき」、小説家・翻訳家・音楽家による特別講座「ただようまなびや文学の学校」の岩手分校となったり、英会話教室の講師とともに原語で英文学を読む「Book Club」など、言葉や本でできることを模索するイベントも。開館5周年記念では、町の文化の創出やデザインをテーマにしたトークセッションを開催。町民自らが町民へのインタビューすることで、まちの歴史・文化・風土を記録していく「聞き書き」の推進にも取り組んでいます。

もりサボ就労相談会 in 紫波町図書館
5/27(水) 7/8(水) 9/2(土) 11/4(土) 1/6(土) 3/17(水)
講演 10:30~12:00
映画 10:30~14:30
ワークショップ 10:00~16:30

2017 NOBEL PRIZE IN LITERATURE
The Remains of the Day
Kazuo Ishiguro
2018 BOOK CLUB SEASON 1
starts on Sunday, 1:30pm, 14th, April, 2018

book bar 開店します。
book bartender
小山 由香里 (Poco books & dine)
長江 貴士 (さわや書館フェザン)
早坂 大輔 (BOOKS&CO)

みらいの学校
2016年 9/3(土) 10:00~12:00
講師 佐々木 知幸氏

児童展示・イベント

子どもたちが楽しみながら情報リテラシーなどを身につけ、知的好奇心を育むことができるよう、不定期に多数のイベントを行ってきました。科学の絵本の読み聞かせと実験をセットにした「サイエンスおはなし会」、出版社と連携して行った百科事典を使って謎を解く「ひゃっか王からの挑戦状!？」など、これまでたくさん子どもたちが参加しています。ひゃっか王に扮したスタッフは子ども達に大人気、時の人となり、テレビ局の取材も受けました。また、地域で読み聞かせ活動をする方々を応援する研修会も行っています。

ひゃっか王からの挑戦状!？
サイエンスおはなし会 4/29(日) 10:30~12:00
よみかきせきほんのき

調べる学習コンクール

2015年より「紫波町図書館調べる学習コンクール」を開催。「調べるちからは生きるちから」をスローガンに、子どもたちが興味関心をもった物事を図書館を使って調べ、まとめて、発表する力を育む支援をしています。このコンクールは公益財団法人図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールにあたり、参加者の中には全国で最高賞の文部科学大臣賞を受賞した児童もいます。

ミステリーがうまれるとき
2015年10/31(土) 17:00-18:20

本との出会いに
1/27(日) 15:00-16:30

家族史探究!
4月24日(日) 13:30~15:00

認知症相談
2017年 10月28日(土) 13:00~15:00

9/10(日) 17-18時
読書会

ただようまなびや文学の学校
10/25(sat)・26(sun)

調べるちからは生きるちから
紫波町図書館調べる学習コンクール
2016.9/1(木)▶10/2(日)

2022 調べる学習マスター
7月10日(日)

読書会
読書会

Library of the Year 2016 優秀賞受賞

他の図書館にとって参考になる先進的な図書館活動などを表彰する「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016」(NP法人知的資源イニシアティブ主催)で「オガールプロジェクトと一体での紫波町図書館」として優秀賞を受賞。受賞理由として、さまざまな連携を通じて地域活性化の中核的な役割として図書館が機能している点を評価されました。岩手県内の図書館として初の受賞となりました。



アメリカ図書館協会 (ALA) 年次大会2019での事例発表

2019年、ALA年次大会の「ジャパンセッション」にて、日本の公共図書館全体の最新動向の報告、県立レベル、都市レベル、町村レベルの三つの事例発表のうち、鳥取県立図書館、広島市立中央図書館とともに、町村レベルの事例として当館が発表を行いました。



豊田恭子.E2185-2019年ALA年次大会におけるジャパンセッションの開催<報告>.より
カレントアウェアネス-E,国立国会図書館, <https://current.ndl.go.jp/e2185>, (参照 2023-02-28)

「2019年6月20日から6月25日にかけて、米国ワシントンD.C.で開催された米国図書館協会(ALA)年次大会(E2178参照)において、ビジネス支援図書館推進協議会(以下「BL協議会」)と図書館総合展運営委員会は共催で、日本の公共図書館事例の発表を行った。

ALA事務局によれば、日本の公共図書館員が年次大会で自館のサービス事例を発表するのは恐らく史上初のことである。

—— 中略 ——

紫波町図書館の手塚美希氏が「司書が人々をつなぎ地域のハブ(要)となる図書館を目指して(Towards a Library Where Librarians Are a Community Hub Connecting People)」として発表を行った。町の紹介ビデオを流すと、会場の目は釘付けとなった。その後も、町の人々を巻き込んだ展示のようすなどを美しい写真の数々で示し、人と情報、人と人をつなぎ、地域のデータバンクとして活動している日々を語った。

ALAが推進する地域づくりの核となる図書館のモデルケースのような事例であり、しかもそれが農村地帯で行われている、ということに感銘を受けた参加者が少なくないようだった。」

豊田恭子氏

児童企画展示

図書館に入り一番最初に出合うコーナー。どんな本を読んだらいいの?と迷う子どもやご家族が、さまざまなジャンルのお気に入りの本と出合えるよう、毎月テーマを変えて絵本やしらべもの本を紹介しています。

テーマの看板は、司書の手づくり。これまで取り上げたテーマの一部を紹介します。





10周年記念図書館誕生祭



2022年8月31日(水)、ヤサイの日をもって、紫波町図書館は10周年を迎えた。その特別な記念日に合わせ「10周年記念図書館誕生祭」として交流型ブース展示「つながる図書館」と参加型トークイベント「これから図書館」を二部制で開催。

第一部「つながる図書館」

第一部「つながる図書館」では、図書館の至るところにブースがあり、地元の専門家や愛好家が、「映画」「音楽」「きのこ」「川柳」「鉄道」「鳥」「バレーボール」「歴史」「石」「農業」「酒」……などと担当ブースを構え、来館者は直接お話しすることができるという贅沢な企画。

「職人」ブースでは、小田中染工房の小田中耕一さんが作品ができるまでの工程や道具を見せてくださったり。「音楽」ブースでは、世界の打楽器や弦楽器、練習用ドラムまで実際に体験できたり、ミニライブが開催されたり。「映画」ブースでは、くじを引いて当たっ



つながる図書館 交流型ブース展示 専門家・愛好家の皆さん	No.1 映画 シワキネマ 小田中卓也さん	No.2 音楽 松本秀人さん	No.3 きのこ 高橋久徳さん	No.4 職人(空染) 小田中耕一さん	No.5 職人(木工) 木戸良平さん	
	No.6 川柳 種谷春樹さん	No.7 短歌 八重梅樹さん	No.8 鉄道 東日本鉄道 OB 会堂後支部	No.9 鳥 柴田さん	No.10 俳句 内村博泰さん	
	No.11 バレーボール 網嶋久子さん	No.12 歴史 常陸歴史研究会 佐藤朝樹さん	No.13 石 清田理さん	No.14 医師 みんなの健康らび	No.15 酒 浪川翔太さん	
	No.16 音楽 野村研堂・あらえび記念館	No.17 観光 しわりり	No.18 観光 シャペーロ	No.19 健康 黒貝士香さん	No.20 農業 藤田均次さん	No.21 農業 CCA 古賀ファーム

た番号の映画の半券がもらえる、映画くじのサービスも。紫波町の名誉町民であり、音楽評論家「あらえびす」としても知られた野村胡堂氏所蔵のSPレコードを手回し蓄音機で聴くことができる体験ブース、きのこ王子の異名をもつ先生が疑問になんでも答えてくれる「きのこ」ブース、石の専門家がいる「石」ブースでは、「紫波町の石を決めよう」総選挙を行っていたり。生活の中で出会いづらい珍しいものから、身近にありながらもなかなか魅力に気づきづらいものたちについて探究する入り口となるような工夫がたくさん用意されていた。

自然な会話の中で、誰かの「好き」や、専門性に触れて、知識欲を刺激される。好きなことをイキイキと語ってくれる人と話しているところまで楽しくなってしまうし、「ちょっと気になる」とうっかり思わされてしまう。立ち寄った方の多方面からの質問や素朴な疑問にも答えてくださる姿勢にも、自身が背負うブースへの「愛」を強く感じた。



第二部 参加型トークイベント「これから図書館」

第二部のトークイベント「これから図書館」では、いままでの10年の歩みを参加者の方とともに振り返りながら「これから」の紫波町図書館がどうあったらいいかを、参加者さんと一緒に考えた。



紫波町図書館設立に関わってきた、行政の方やアドバイザー、NPO 法人の方などの面々や、地元の小・中・高生から、近隣の市町村や他県からお越しいただいた参加者もいて、多様な顔ぶれ。「開館日に主任司書さんが涙した…!？」など、開館前夜から10年に至るまでのさまざまなエピソードも飛び出しつつ、なごやかな雰囲気が進んでいった。



紫波町図書館のアドバイザー山崎氏からは「これから市民の力がますます必要になっていきます。市民と図書館の関わりをもっと考えるのが大切ですね」の声には、参加者さんもスタッフさんも、強く背中を押されたよう。

会の終盤で、これからの紫波町図書館がどんな場所であってほしいか、という問いかけに、参加者さんからはこんな声が挙がっていた。



借りる人も、貸す人も幸せを感じる図書館。

困った時、悩んだ時「とりあえず図書館に行こう」と、気軽に前向きな気持ちで行ける。

中高生向けの企画として、中高生のおすすめや、自分の思った魅力を発信できる場があると嬉しい。

町の人々の活動ショールームになる。

「利用者としての関わり方」として考えたとき、誰でも参加できるボードゲーム大会や、「社会的処方」の実践が図書館でできるといいと思った。

いつも変わらず利用者を笑顔で迎えてくれる癒しの場であり学びの場。必要不可欠な場所として存在してほしい。

本であそび、本で笑顔になる本のテーマパーク。皆が楽しめるライブラリーランドに。

公園のような図書館。



書く意欲を増す図書館。

町のことがなんでもわかる。紫波町の歴史を残す役割。図書館から遠い人、来ない人も利用できる。

災害に対応できる図書館。命や暮らしが脅かされるときに知恵や学びや力を与えられるといい。

多様性あふれ、個性が集う所。

図書館に泊まってみたい。

本の修理を有償で受け付けるなど、資金調達の手段を考えてみるのもいいのでは。

今後も、地元の人と直接ふれあう今日のようなイベントをやってほしい。



まだまだ色々な声が集まっていましたが、どれも今の図書館への想いが込められた、未来を見据えた言葉だった。

デザインのはなし

オガールプロジェクトのスタート時に、公共空間のあり方を検討するために「オガールデザイン会議」が立ち上げられました。優れた空間デザインで統一感のある美しい街並みをつくり、町民の財産である町有地「オガールエリア」の価値を高めることを目指したものです。

「優れたデザインとは？」を、都市計画、建築、ランドスケープ、情報デザインという4つの分野の専門家で構成されたデザイン会議メンバーが考え、「オガール地区デザインガイドライン」が策定され、その考え方を紫波町図書館も取り入れました。ロゴマークのカラーは「鉄紺」に。館内サインや封筒、名刺、名札など細部のデザインに至るまでAsyl（アジール・佐藤直樹氏代表）に監修をお願いし、デザインの考え方を受け継いできました。



ロゴマーク

丸みのある文字の上には、本を連想させる8つの長方形。左側に積まれた4冊の本は「S」、右側に立てかけられた4冊の本は「W」を表し、1つも同じ形はない。

(Designed by Asyl)



ブックカバー

型染で作られたオリジナルブックカバーデザインは、図書館HPより無料ダウンロードが可能。

(紫波町在住の型染職人・小田中耕一氏制作)



ユニフォーム

デザイン・制作は盛岡で“布に纏わる”モノづくりを行っている「工房蟻（こうぼうあり）」さん。紫波町が農業の町であることから、バルビゾン派の絵画に描かれる、素朴な農婦をイメージしたワンピース。色は「鉄紺」に近い藍色に。経年で色が落ちてきたら染め直し、ほつれてきたら繕いをしていただいたり、長く大切に着続けられている。



貸出カード

借りた本の書名が白い本に印字されていくデザイン。スペシャルカードもあり。

(Designed by Asyl)

バッグ

紫波町図書館開館一周年記念で制作したバッグ。

(Designed by Asyl × 小田中耕一)



第2章

紫波町図書館10年のあゆみ

前身の胡堂文庫を経て2012年8月31日（金）に開館してから、2023年までの10年間の軌跡を資料や一覧などで紹介します。



紫波町図書館開館前沿革 1963年～2012年

- | | |
|--|--|
| <p>1963年 2月 — 名誉町民野村長一(胡堂)氏から胡堂文庫運営基金として200万円が贈られる</p> <p>1965年 — 同基金へ50万円の寄贈を受ける</p> <p>1月 — 現在の中央公民館が落成し、胡堂文庫も同時に設置となる</p> <p>1966年 4月 — 移動公民館車(巡回図書館車)設置、町内70カ所の巡回がスタートする</p> <p>1971年 4月 — 2代目移動公民館車が配置となる</p> <p>1981年 — 日詰公民館の設置により胡堂文庫は旧視聴覚室へ移動</p> <p>1982年 10月 — 野村胡堂生誕百年記念行事が開催される</p> <p>1983年 3月 — 町制要覧へ独立図書館の建設を昭和61年度までに建設する旨の記載あり。総合体育館の完成を契機に、以後急速に図書館建設の気運が高まる</p> <p>8月 — 3代目移動図書館車がたくり号が巡回を開始</p> <p>1985年 3月 — 町制施行30周年記念要覧へ図書館の建設に関する記事を掲載</p> <p>1990年 3月 — 第一次生涯学習計画へ生涯学習センター構想を計上</p> <p>1994年 3月 — 教育委員会において「生涯学習センター基本計画」を策定するが実現に至らず</p> <p>1998年 3月 — 第二次町生涯学習計画へ図書館を核とする総合インテリジェントセンター構想を計上</p> <p>2000年 4月 — インターネットを利用した図書受付システム「図書ネット」の運用を開始</p> <p>2001年 3月 — 紫波町総合計画に生涯学習センター施設整備を行う旨の内容を計上</p> <p>8月 — 市民団体「図書館を考える会」が結成</p> <p>2002年 5月 — 第三次紫波町生涯学習推進計画へ生涯学習センター設置に向けた調査研究を行う旨掲載する</p> <p>10月 — 図書館を考える会と教育長の懇談会開催。同会図書館構想案の提出を受ける</p> <p>2003年 5月 — 町職員に代わり胡堂文庫に専門職員(読書推進指導員)を配置する</p> <p>2004年 3月 — 胡堂文庫のリニューアル工事を行う</p> <p>2005年 1月 — 紫波フェロー会議において図書館建設が取り上げられ、提言がまとめられる</p> | <p>2005年 6月 — 庁内行政課題研究会を立ち上げる</p> <p>7月 — 図書ボランティアグループ「ほんたネット」から表彰副賞図書の寄贈を受ける</p> <p>8月 — 紫波町図書ネット運用見直しによるボランティアコーディネーターを胡堂文庫内に配置</p> <p>9月 — 庁内行政課題研究会による県内図書館先進地視察研修(県内3館)を実施</p> <p>2006年 4月 — 県外図書館先進地研修を開催(秋田県立図書館他2館)図書館をつくり育てる会から町長に対し、図書館の早期開館と構想検討委員会の設置を求める要望書が提出される</p> <p>図書館フォーラムを開催する</p> <p>5月 — 町民協働による町民の図書館をつくろう委員会を開催。以後定期的開催</p> <p>庁内図書館プロジェクトチーム図書館建設検討会を設置</p> <p>10月 — 図書館建設検討会と町民の図書館をつくろう委員会の合同研修実施(県内4館)</p> <p>町民の図書館をつくろう委員会・提言書がまとめられる</p> <p>12月 — 図書館整備検討委員会を設置</p> <p>2007年 3月 — 第1回図書館整備検討委員会を開催</p> <p>6月 — 第2回図書館整備検討委員会を開催</p> <p>10月 — 第3回図書館整備検討委員会を開催</p> <p>2008年 4月 — 第4回図書館整備検討委員会を開催</p> <p>10月 — 第5回図書館整備検討委員会を開催</p> <p>12月 — 図書館基本構想・基本計画・整備計画原案の策定、報告(町長)</p> <p>2009年 3月 — 図書館基本構想・基本計画決定(紫波町教育委員会)</p> <p>4月 — 図書館整備業務が町長部局へ移管となる</p> <p>2011年 3月 — 東日本大震災</p> <p>2011年 6月 — オガールプラザ着工</p> <p>2011年 8月 — 31日 中央公民館図書室(胡堂文庫)閉室</p> <p>2012年 6月 — オガールプラザ竣工、情報交流館開館</p> <p>2012年 8月 — 紫波町図書館開館</p> |
|--|--|

紫波町図書館開以降沿革 2012年～2023年

図書館・オガールのこと

2012
平成24年

町の出来事など

- | | |
|---|--|
| <p>2月26日 オガールフォーラム開催</p> <p>6月18日 オガールプラザ竣工式</p> <p>6月20日 オガールプラザオープン</p> <p>6月23日 情報交流館大スタジオ「軽音フェスティバル」</p> <p>7月2日 子育て応援センター「しわっせ」開所</p> <p>8月30日 紫波町図書館プレオープン(本とあそぼう全国訪問おはなし隊)</p> <p>8月31日 紫波町図書館オープン
パネルディスカッション「紫波町図書館でできること」
～10月30日 開館記念展示</p> <p>8月31日 オガール東広場オープン</p> | <p>3月31日 日詰駅前住所が変更</p> <p>5月21日 金環日食(町内は部分日食)</p> <p>8月12日 一里坂の松伐採</p> |
|---|--|

図書館・オガールのこと

町の出来事など

2013
平成25年

- 10月16日 移動図書館を再開
- 10月18日 情報交流館オープン記念 増田寛也氏講演会



2012年8月 紫波町図書館オープニングセレモニー

- 1月26日 「ブッククラブ」スタート

- 6月22日 オガールプラザ開館1周年記念「オガール・ネクスト・ウェイ」

- 9月28日 開館1周年記念ライブラリートーク&セッション
「文化よオガレそして世界にカオレ」

- 10月7日 オガールベース起工式、オガールタウン分譲開始

- 10月24日 オガールプロジェクトが平成25年度土地活用
モデル大賞で国土交通大臣賞を受賞

- 10月27日 末森千枝子さん講演会

- 11月3・4日 公共図書館員のタマシイ塾 in 岩手

- 12月25日 情報交流館来館者50万人を達成



2014年5月 第1回夜のとしよかん

2014
平成26年

- 1月17日 紫波型エコハウスサポートセンター起工式
- 1月29日 農業支援サービス「こんびりカフェ」がスタート

- 3月6日 エネルギーステーション起工式

- 5月22日 産直「紫波マルシェ」来店者50万人を達成
- 5月29日 「夜のとしよかん」スタート

- 9月23日 日詰かじ町さんさ踊り町指定文化財認定
- 10月3日 野村胡堂・あらえびす記念館 来館者25万人

- 10月25日～29日 全国和牛能力共進会、片寄の畠山満正氏優秀賞
- 10月27日 野村胡堂・あらえびす記念館、高橋克彦名誉館長×脚本家内館牧子氏特別対談
- 11月3日 星山神楽伝承80周年記念神楽大祭
- 12月2日 紫波町農村青年クラブ創立55周年式典

- 2月22日 紫波町森林整備推進協定を締結
- 3月1日 紫波町農村青年クラブが第52回全国青年農業者会議で農林水産省局長賞を受賞
- 4月、岩手を舞台にしたNHK連続テレビ小説「あまちゃん」が放送され一大ブームに
- 4月14日 野村胡堂没後50年の集い開催
- 6月21日 「ゆいっこの里犬草」農林水産大臣賞を受賞

- 10月7日 役場新庁舎起工式

- 11月4日 郷土芸能保存会創立60周年記念碑建立
- 11月4日 郷土史同好会10周年記念式典開催
- 12月4日 「和食 日本人の伝統的な食文化」が無形文化遺産に登録される

図書館・オガールのこと

町の出来事など

図書館・オガールのこと

町の出来事など

2015
平成27年

2017
平成29年

2018
平成30年

2016
平成28年

- 7月26日 エネルギーステーションが完成
- 7月31日 民間複合施設オガールベースオープン
- 8月1日～3日 オガールプラザ開館2周年記念「オガール祭り2014」開催
- 8月30日 ベアレンピアフェスト in 紫波 青空おはなし会スタート

- 9月14日 白田夜半氏講演会
- 10月25日・26日 紫波町図書館2周年記念事業
開校!「ただようまなびや文学の学校分校岩手分校」2014
古川日出男氏、柴田元幸氏、大友良英氏、川上弘美氏、沢村鐵氏



2014年8月 ベアレンピアフェスト青空おはなし会

- 1月11日 真冬のトークイベント「面白い本と出会う方法」

- 4月1日 オガールイン宿泊利用者へ図書貸出サービス開始

- 6月27日 「紫波町図書館調べる学習コンクール」スタート
- 7月7日 情報交流館来館者100万人を達成

- 10月1日 オガールイン宿泊者への図書貸出サービスを始める
- 10月31日 錦秋のトークイベント「ミステリーが生まれるとき」
北村薫氏、有栖川有栖氏、戸川安宣氏



2016年2月 図書館を使った調べる学習コンクール表彰式

- 2月27日 紫波町から応募した森田開さんが第19回図書館を使った調べる学習コンクール(全国大会)で文部科学大臣賞受賞。東京上野精養軒で表彰式。

- 2月29日 文部科学大臣賞受賞紫波町報告会開催

- 4月22日 オガールセンター工事起工式

- 9月10日 町消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞

- 11月6日～8日 日詰商店街くらみちフェスティバル開催
- 11月9日 「志和蚕の市」開催

- 2月7日 紫波の森づくりフォーラム開催
- 2月11日 「異聖歌生誕110年童謡まつり」開催
- 3月8日 「まちづくり大交流市」「まち育ての祭典」開催

- 4月7日 犬吠森念仏剣舞が県指定無形民俗文化財に指定
- 4月19日 町政施行60周年記念式典
- 5月7日 役場新庁舎が開庁
- 6月16日 町内観測史上最大1時間あたり95.5mmの集中豪雨が発生

- 7月7日 町連合婦人会が60周年記念式典を開催
- 8月25日 ラ・フランス温泉館来館者500万人を達成

- 9月25日～27日 リノベーションスクール in SHIWAを開催

- 11月21日 紫波町体育協会創立60周年記念式典開催

- 1月30日 環境マイスター紫波が県知事表彰を受賞
- 2月25日 平沢北生産組合が全国麦作共励会集団の部農林水産大臣賞受賞

- 3月26日 北海道新幹線が開業
- 4月10日 平井家住宅重要文化財指定書伝達式

- 4月30日 クライム・スプリント2016
- 5月14日 第1回日詰商店街さんさん朝市
- 6月19日 「みずわけ湧くわく博物館」開催

- 11月9日 ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016優秀賞受賞

- 11月30日 オガールセンター竣工
- 12月3日 情報交流館来館者150万人達成

- 12月20日 オガール×図書館シンポジウム
猪谷千香氏講演会・パネルディスカッション



2017年2月
図書館を使った調べる学習
コンクール全国大会紫波町報告会

- 2月～11月 出張としょかんスタート
- 2月28日 森田開さんと森田結子さんの図書館を使った調べる学習コンクール(全国大会)紫波町報告会

- 3月12日 ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016
受賞記念サミットin紫波「つながる図書館」開催

- 4月18日 「オガールEXPO2017」開催

- 11月16日 オガールプラザ「第32回都市計画協会会長賞」受賞
- 11月21日・22日 オガール×図書館シンポジウム開催
- 12月17日 図書館5周年記念トークイベント
「図書館にデザインは必要か？」

- 1月27日 猪谷千香氏講演会・オガールのこれから

- 3月20日 5周年記念 夜のとしょかん第12夜

- 5月30日 紫波町オガールプロジェクトにおける公民連携が
2018年日本建築学会賞を受賞

- 8月4日 book bar開店
- 9月5日 2018日本建築学会賞受賞記念シンポジウム
- 9月24日 カナダの女子バレーボール代表チーム
世界選手権に向けた事前合宿

- 12月16日 郷土資料講座「紫波に来た近江商人」

- 10月5日～9日 希望郷いわて国体自転車競技会
- 10月29日 紫波町ふるさと会結成30周年記念式典

- 11月26日 JAいわて中央「紫波町有線放送劇団」創設35周年記念収録

- 12月10日 第50回紫波町芸術祭記念式典・記念講演



2016年11月
ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016優秀賞受賞

- 1月30日 東京都日野市と姉妹都市盟約を締結

- 3月5日 佐比内金山太鼓創設30周年記念公演

- 3月28日 中央保育所開所式

- 5月13日 川を知る会が「東北・水環境保全大賞」を受賞
- 6月24日 日詰商店街で「紫季のマルシェ」開催
- 7月29日・30日 ラ・フランス温泉館20周年大感謝祭



2017年12月 図書館5周年記念トークイベント

- 3月3日 紫波×山トークショー開催

- 4月1日 紫波町汚泥再生処理センターが開所
- 5月14日～31日 学校再編に関する意見交換会を町内11小学校区で開催

- 7月8日 「オリンピックデー・フェスタ in 紫波」開催

- 11月2日 古館公民館が文部科学省の優良公民館表彰受賞



2019年11月 おんがくとしょかん

2019

平成31年・令和元年

6月20日～25日 アメリカ図書館協会年次総会2019ジャパンセッション(ワシントンD.C.)にて手塚主任司書が紫波町の取り組みを発表

10月6日 文学・歴史伝承講座「平泉藤原氏と紫波の樋爪氏との関わり」

11月1日 おんがくとしょかん、第1夜「ものがたり音楽をのせて」

- 2月13日 町の広報誌1000号を達成
- 2月16日 町交通指導隊50周年記念式典を開催
- 3月31日 紫波稗史衛生処理組合が54年間の歴史に幕
- 4月23日 町総合計画市民ワークショップ成果報告会を開催
- 4月27日 佐比内のレストランぶどうの樹がリニューアルオープン
- 5月1日 皇太子徳仁親王が天皇に即位され、「令和(れいわ)」に改元
- 5月2日 野村胡堂・あらえびす記念館来館者30万人を達成

- 7月4日 紫波消防署 新庁舎落成記念式典を開催
- 10月 日本の消費税率が8%から10%に変更された。

- 10月6日 「あづまねマウンテントレイル2019」を開催
- 11月10日 紫波二中創立60周年記念式典開催

2020

令和2年

1月24日 オガールプラザ(株)代表が「ふるさとづくり大賞」総務大臣表彰を受賞

2月2日 図書館サービス向上委員会主催「地域とつながる図書館フォーラム in 紫波」

4月～ 新型コロナウイルス感染症予防のための対策を始める館内放送・館内掲示による注意喚起等の対策
4月29日～5月6日まで臨時窓口開設

6月18日 図書館が来館者150万人達成

8月～ 新型コロナウイルスによる外出制限時の読書支援のため、子どもたちへの団体貸出3746(みなよむ)セットを配送開始

11月7日 第1回 地域を知る講座「南部杜氏の源流をひもとく」

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する。

4月1日 町コミュニティバス「すこやか号」運行終了し、デマンド型乗合バス「しわまる号」の運行開始

4月7日 国が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を发出

7月6日 紫波サイダリー合同会社がホップサイダーの発売発表会開催

9月5日 さようなら役場旧庁舎イベント開催

10月11日 東北本線一関～盛岡駅間開業130周年イベント開催

2021

令和3年

1月21日 もりサボ就労相談会スタート

3月30日 紫波町図書館雑誌スポンサー制度開始

メジャーリーグの大谷翔平が二刀流で活躍

3月27日 赤沢児童館閉所

3月31日 水分小学校、上平沢小学校、片寄小学校が閉校

5月29日 情報交流館来館者300万人達成

6月18日 図書館入館者150万人達成

7月13日～20日 カナダ男子バレーボールチームが事前キャンプ

8月14日～22日 カナダ女子シッティングバレーボールチームが事前キャンプ

9月14日 紫波町図書館基金条例公布



2021年5月～7月 企画展示「知る!観る!エール!カナダとバレーボール」

5月30日 オガールプラザ開業10周年記念シンポジウム

6月25日 聞く・書く・伝える 誰でもできる!「聞き書き」のはじめかた

8月31日 紫波町図書館 開館10周年記念 図書館誕生祭
第1部 交流型ブース展示「つながる図書館」
第2部 参加型トークイベント「これから図書館」

11月26日 聞き書きスト養成講座スタート

12月18日 第2回地域を知る講座「もう一つの平泉 奥州藤原氏第二の都市比爪」

2022

令和4年

4月1日 施設隣接型小中一貫校・西の杜小学校が開校

4月9日 旧紫波郡役所庁舎が県指定有形文化財に指定

6月9日 新型コロナウイルスワクチンの集団接種開始

7月23日 東京2020オリンピック・パラリンピックが開幕

12月22日 日誌商店会が中小企業庁の「はばたく商店街30選」に選定

1月8日 令和2年度、9日は令和3年度成人式開催

2月4日～20日 北京2022冬季オリンピックに町出身の谷地宙選手がノルディックスキー複合男子で出場。

3月31日 彦部小学校、星山小学校、佐比内小学校、赤沢小学校、長岡小学校が閉校

4月1日 紫波東小学校、施設一体型小中一貫校・紫波東学園が開校。紫波東こどもの家が開所

5月30日 新型コロナウイルス「岩手緊急事態宣言」解除

6月10日 Web3タウンの推進を表明

6月22日 SOKO LIFE TECHNOLOGY(株)とWeb3領域の技術を活用した住民サービス向上に向けた連携協定を締結

7月7日 国道4号沿いの役場庁舎跡地に温浴施設「ひづめゆ」がオープン

8月7日 紫波夏まつりが3年ぶりに開催

10月6日(特非) 古館まちづくりの会内閣府の社会参加章の受章伝達式

10月22日～23日 第37回紫波町産業まつりが3年ぶりに開催

10月31日 紫波三中創立60周年記念式典を開催

2023

令和5年

3月31日 団体貸出3746(みなよむ)セットを配送終了



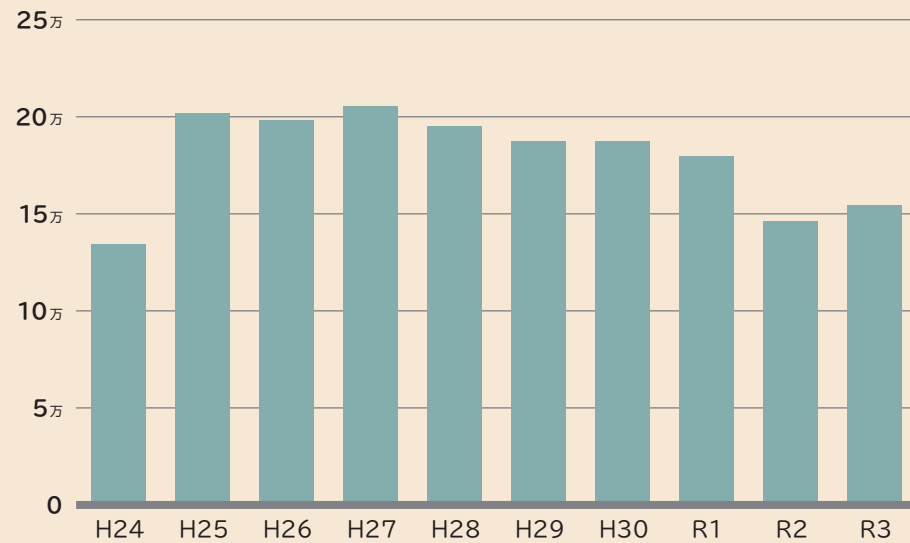
2022年8月 これから図書館(集合写真)

10年間の統計

開館から10年間の各種データを紹介します。

入館者数推移

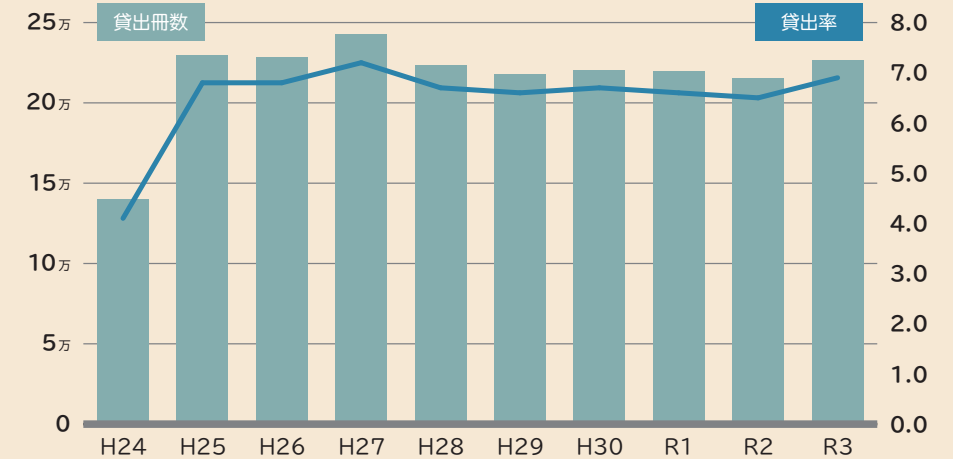
平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
134,341	201,664	197,874	205,584	195,084	187,186	187,249	179,578	146,096	154,445



紫波の人口に対する一人当たり貸出冊数

※住民基本台帳による各年度末人口

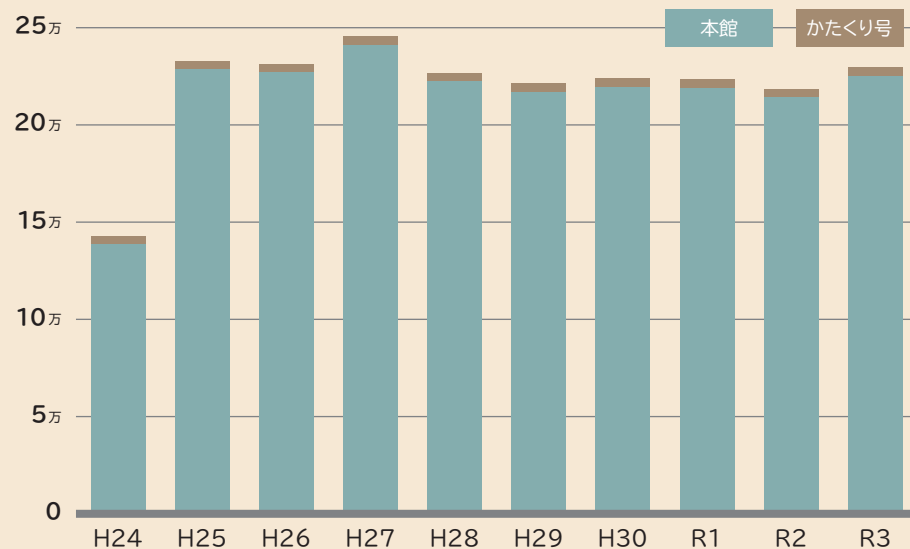
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
貸出冊数	139,776	229,631	228,498	242,401	223,488	218,015	220,437	219,744	215,306	226,428
貸出率	4.1	6.8	6.8	7.2	6.7	6.6	6.7	6.6	6.5	6.9
人口	33,983	33,830	33,669	33,538	33,314	33,170	32,958	33,090	33,049	33,024



個人貸出点数推移

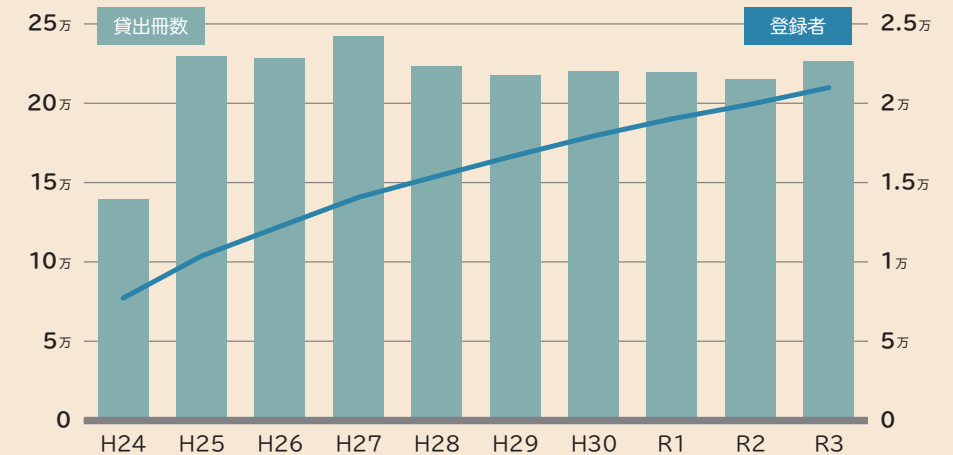
※雑誌・視聴覚資料も含む

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
本館	138,932	228,389	227,152	241,083	222,318	216,971	219,374	218,731	214,119	225,216
かたくり号	844	1,242	1,346	1,318	1,170	1,044	1,063	1,013	1,187	1,212
計	139,776	229,631	228,498	242,401	223,488	218,015	220,437	219,744	215,306	226,428



紫波町図書館登録者に対する貸出冊数

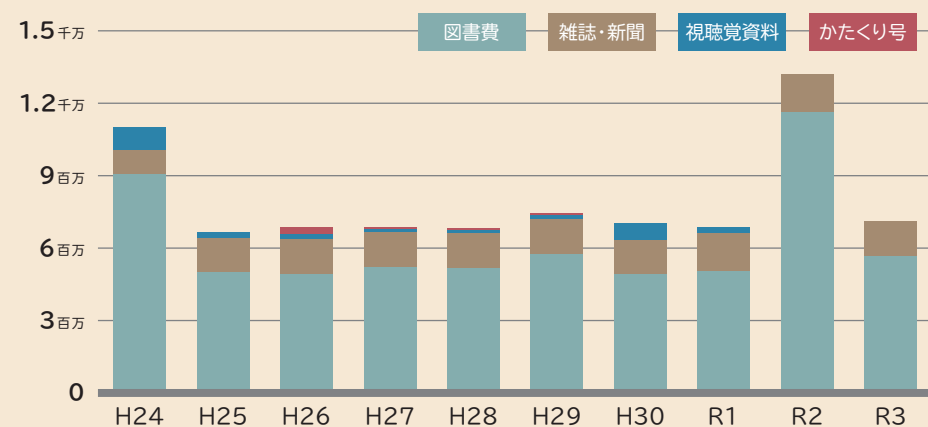
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
貸出冊数	139,776	229,631	228,498	242,401	223,488	218,015	220,437	219,744	215,306	226,428
登録者	7,753	10,408	12,273	14,109	15,440	16,743	17,976	19,057	19,972	21,022



図書費（決算額）

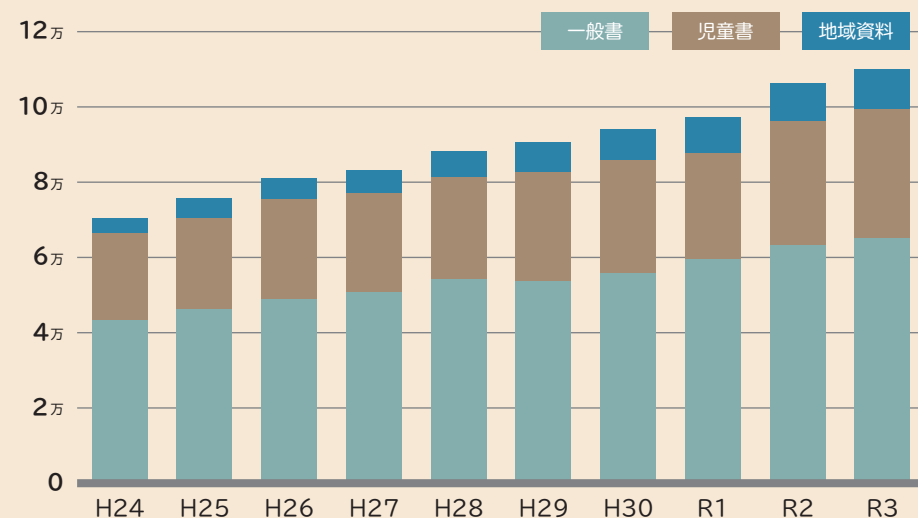
単位千円

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
図書費	9,059	4,994	4,899	5,210	5,161	5,719	4,922	5,024	11,600	5,663
雑誌・新聞	980	1,406	1,498	1,460	1,497	1,504	1,420	1,632	1,577	1,431
視聴覚資料	960	100	20	50	14	23	349	39		
かたくり号			129	10	11	17				
総額	10,999	6,500	6,546	6,730	6,683	7,263	6,691	6,695	13,177	7,094



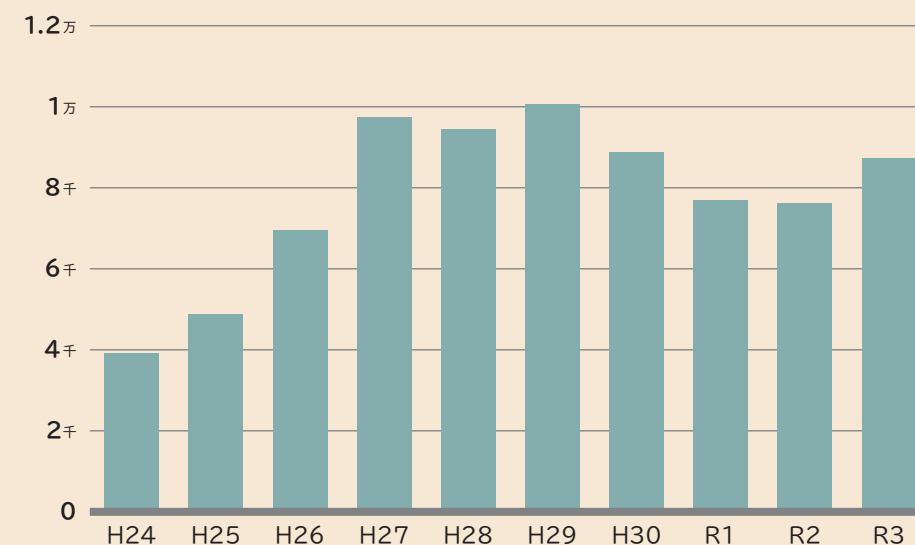
蔵書数の推移

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般書	43,318	46,260	48,789	50,736	54,078	53,753	55,926	59,496	63,290	64,979
児童書	23,029	24,201	26,714	26,417	27,272	28,918	29,809	28,296	32,801	34,538
地域資料	4,037	5,231	5,431	6,036	6,936	7,992	8,404	9,421	10,107	10,585
計	70,384	75,692	80,934	83,189	88,286	90,663	94,139	97,213	106,198	110,102



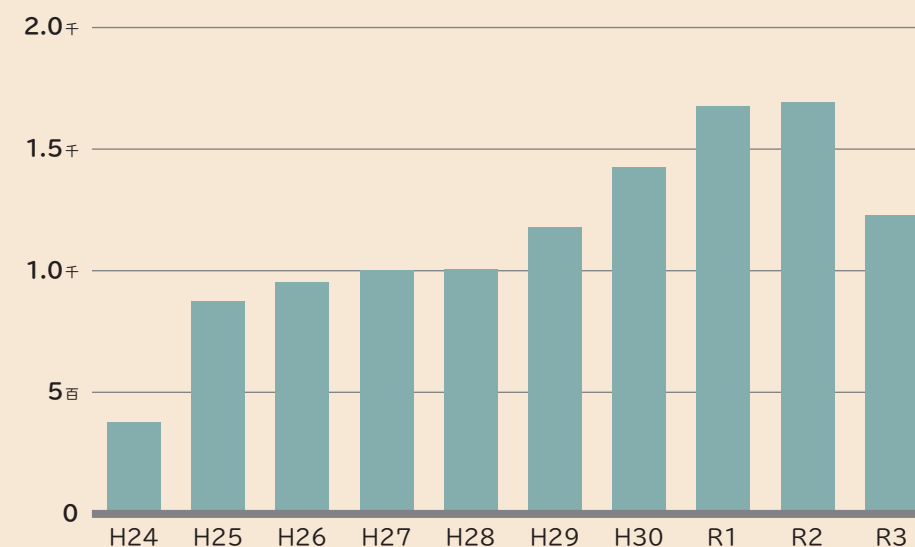
レファレンス件数の推移

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
3,917	4,869	6,954	9,729	9,447	10,059	8,867	7,699	7,615	8,100



リクエスト件数の推移

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
376	873	951	1,002	1,005	1,177	1,425	1,677	1,691	1,227



メディア掲載一覧

新聞・図書・雑誌に掲載された記事を見出し付きでご紹介します。

新聞掲載			
掲載日	新聞	面	見出し
2006.04.21	岩手日報	16	めざせ理想の図書館 紫波町 建設に向け官民協同 あすフォーラム 検討委も発足へ
2006.04.25	岩手日報	16	理想の図書館 どう形に 整備めざしフォーラム 紫波町
2008.07.07	岩手日報	18	役場は紫波中央駅前 公民連携手法で計画案 図書館、隣接地に 民間企業の提案も募る
2011.11.13	岩手日報	27	来年開館の図書館 スタッフと交流会 紫波町で16日
2012.01.24	盛岡タイムス	2	紫波町に待望の図書館 産直と連携し活用 紫波中央駅西側オガールプラザ 1階と2階 蔵書能力10万冊
2012.05.20	岩手日報	20	交流拠点 膨らむ期待 紫波町・オガールプラザ 開所まで1カ月 産直や図書館が入居 中央駅前発の活気期待
2012.06.24	岩手日報	20	人モノ情報集う場に 紫波町・オガールプラザ
2012.07.06	読売新聞	30	子どもの好奇心 育む図書館
2012.08.30	岩手日報	19	紫波町図書館あす開館 町内初、交流拠点に 音楽を流し飲食も可能
2012.09.01	岩手日報	26	蔵書6万 本好き育て 紫波町図書館オープン
2012.09.01	盛岡タイムス	9	紫波町民待望の図書館オープン 蔵書6万冊、読書テラスも開設
2012.09.04	読売新聞	30	駅前施設に新図書館
2012.11.30	盛岡タイムス	10	紫波中央駅前・オガールプラザ内 BGMが流れる図書館
2013.01.05	岩手日報	20	笑いの本楽しんで 紫波町図書館 150冊、コーナー特設 明るい年願う
2013.02.21	岩手日報	19	「春の挑戦」応援 紫波町図書館展
2013.03.14	岩手日報	25	「万一の備え、を読む 紫波町図書館 防災の企画展
2013.05.17	岩手日報	23	農と食の情報より身近に 紫波町で講習会
2013.06.24	岩手日報	19	オガールプラザ 未来を展望 紫波町で1周年行事 誘客など考える
2013.09.19	岩手日報	21	職人お薦め この一冊 紫波町図書館企画展 町内の14人 愛読書紹介 作品も展示26日まで
2013.09.29	岩手日報	22	文化が薫る紫波町に 町図書館1周年 催しで発信策探る
2013.12.26	岩手日報	18	入館者50万人達成 開館1年半、催し多彩 紫波町情報交流館
2013.12.26	盛岡タイムス	1	50万人目は小学生に 紫波町情報交流館 晴山里菜さん(古館小5年)
2014.02.15	日本経済新聞	37	塩漬けの土地 街の顔に 岩手・紫波町、官民で再生 図書館核にカフェや市場
2014.03.16	岩手日報	20	小松左京さんの思いに触れて 紫波町図書館 SF小説など展示
2014.05.11	岩手日報	21	紙芝居で水の歴史を楽しく 紫波町図書館上演会
2014.05.22	岩手日報	19	交流育む夜の図書館 紫波町 29日、大人向け企画「農」テーマでトーク
2014.05.31	岩手日報	25	夜に図書館 学び充実 紫波町初開催 イベントで交流
2014.06.05	日本農業新聞	10	大人向けに「よるのとしょかん」 第1回は「農の話」岩手県紫波町
2014.08.29	岩手日報	27	文化人に学ぶ「言葉の力」紫波で10月25、26日講座 古川さん(小説家)ら授業
2014.09.26	盛岡タイムス	7	オガール手法に国学が 小泉政務官が紫波を視察
2014.10.17	岩手日報 週刊いわてTVガイド	13	紫波町図書館イベント 大人の知的好奇心が集う「夜のとしよかん」
2015.01.01	日本経済新聞	33	にぎわいは粘り強さから 創生実現へ 三度目の正直
2015.01.11	岩手日報	21	本との出会い3人がトーク きょう紫波町で
2015.01.19	岩手日報	11	本から本へつながる面白さ
2015.06.28	岩手日報	25	本から広がる「調べ学習」 紫波町で講習会
2015.07.06	日本教育新聞	1	学びの力で地方創生④ 生涯学習施設核に人呼び込む
2015.07.08	盛岡タイムス	1	3年で100万人達成 紫波町オガールプラザ 町民の阿部さん親子で
2015.07.08	岩手日報	24	開館3年 100万人達成 紫波町情報交流館 同居店と相乗効果 当初見込み上回る集客
2015.07.08	盛岡タイムス	3	戦争の悲惨さ考える機会 紫波町図書館 戦後70年迎え企画展
2015.09.10	岩手日報	14	町づくり中心は図書館 紫波町、全国から注目
2016.01.14	岩手日報	18	視察研修の収益で図書館に本贈呈へ オガール紫波
2016.01.18	岩手日報	11	紫波でトークイベント「面白い本と出会う方法2」
2016.02.28	岩手日報	23	森田君(紫波町・彦部小) 輝く大臣賞 調べる学習コンクール トビ研究、一冊に 楽しみながら疑問解明
2016.05.26	盛岡タイムス	7	オガールに国会の視線 民生活成功のモデル 衆院地方創生特別委が視察
2016.11.23	岩手日報	20	地域に出張 農家応援 紫波町図書館が初の企画 野菜作りのこつ解説 試験的開催、継続を展望
2016.12.04	岩手日報	19	調べる好奇心さらに 図書館学習コンクール 入賞児童9人表彰
2016.12.04	岩手日報	19	ありがとう 来館者150万人 オープンから4年半

掲載日	新聞	面	見出し
2016.12.04	盛岡タイムス	7	オガール入館150万人 紫波町佐藤さん(彦部小) 姉妹に記念品
2016.12.08	朝日新聞	23	本、帯だけ見て借りて 紫波町図書館の企画が人気 「日頃選ぶのと違う出会いに」
2016.12.10	岩手日報	22	優秀賞に紫波町図書館 ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016 地域活性化へ役 工夫凝らし農業支援
2016.12.11	毎日新聞	26	本との出会い 帯頼りに ページ開く時ドキドキ
2016.12.14	盛岡タイムス	7	紫波町図書館 好評、帯から出会う本 シークレット・ブック タイトル伏せて貸す
2016.12.19	岩手日報	19	「オガール×図書館」 紫波町であすシンポジウム
2016.12.21	岩手日報	4	ひと 紫波町図書館の司書 手塚 美希(てづか みき)さん
2016.12.25	岩手日報	21	地域スポット・紫波町でオガール×図書館シンポ
2017.01.10	岩手日報	22	図書館核に街づくり 日図協全国調査 497自治体が事業 紫波町では農業支援
2017.01.10	盛岡タイムス	1	紫波町のオガール 地域文化発信基地に 6月で5周年 先進事例に全国から視察 4月にはセンター開館 官民複合施設
2017.03.13	岩手日報	19	図書館の未来語る 紫波町 全国賞の施設記念サミット
2017.03.25	岩手日報	10	LOY受賞記念サミットin紫波 開かれた知、共に学ぶ 全国4図書館が実践発表 伊丹・ことば蔵 運営会議も出前
2017.04.02	岩手日報	10	オガール生んだ本気の挑戦 「町の未来をこの手でつくる」著者猪谷千香さんに聞く
2017.04.03	岩手日報	19	紫波町図書館 動植物に親しむ107冊
2017.04.18	岩手日報	10	進化を続ける街・オガール 紫波町・オガールプロジェクト いよいよスタート
2017.04.24	岩手日報	19	「市場」に集う春のひととき 飲食販売や演奏体験 紫波
2017.12.16	岩手日報	24	デザイン題材にトーク あす町図書館5周年イベント
2017.12.18	岩手日報	17	町図書館デザイン制作秘話語り合う 5周年記念イベント
2018.01.01	産経新聞	25	全国から注目を集める町 オガール 岩手県紫波町
2018.05.12	岩手日報	22	一筆箋 良さ知って 紫波町図書館企画 著名人のやりとり紹介 伝わる思いや温かさ
2018.05.12	盛岡タイムス	7	本のお見合い薦め合い 紫波町図書館企画展 2人組「拜啓 この本読んだ？」
2018.08.02	岩手日報	4	地方創生の手法オガールに学ぶ 紫波町、担当相視察
2018.08.04	岩手日報	24	紫波 読書と地酒楽しんで 町図書館でブックバー きょう限り
2018.08.26	岩手日報	23	日本の図書館サービス事例を海外で発表 アメリカ図書館協会年次大会ジャパンセッション開催報告
2018.11.04	岩手日報	23	紫波が誇る「遺影画家」町図書館で企画 故大沼さんの作品紹介 和装女性描いた木炭画
2018.12.17	岩手日報	2	近江商人と本県つながりを解説 本紙連載の三島さん
2019.01.18	岩手日報	12	学芸短信 真冬のトークイベント 面白い本と出会う方法3「本との出会いにまちの本屋ができること」
2019.01.20	岩手日報	22	著名書店員指南 ホンとの出会い トークイベント 27日、情報交流館
2019.01.29	岩手日報	17	本の魅力届ける信念 紫波町図書館「カリスマ店員」トーク
2019.03.17	岩手日報	22	オガール紫波が図書館に本185冊 視察収益で寄贈
2019.05.30	岩手日報	22	図書館の地域活動発信 紫波町・手塚美希主任司書 国際大会で事例発表 米国で来月 農林業の企画評価
2019.06.25	岩手日報	20	町の変革 図書館から 紫波町司書・手塚さん 米協会大会で発表
2019.07.07	岩手日報	19	創作のヒントを助言 詩人党さん「千と千尋」の秘話も
2019.08.26	文化通信	2	図書館サービス事例を海外で発表 アメリカ図書館協会年次大会ジャパンセッション開催報告
2019.10.07	岩手日報	17	金野さん(元県立博物館長) 文学・歴史伝承講座
2019.11.25	岩手日報	18	紫波町で岩手保健医療大出前講義
2019.12.14	朝日新聞	24	岩手の良いところ 惜しいところ 野菜や果物 豊かな資源生かせる
2020.02.03	岩手日報	15	地域に根差す図書館に理解 県内初フォーラム
2020.03.18	岩手日報	20	紫波 図書館充実へ本273冊を贈る オガール企画
2020.04.12	岩手日報	18	本のカリスマ 忘れない 紫波町図書館 伊藤さん(元さわや本店長) 追悼展 お薦めやコラム200点超
2020.06.05	盛岡タイムス	3	正しい情報つかんで 関連書籍とパネル展示
2020.06.09	岩手日報	16	正しい情報選びポイント学ぼう 町図書館で企画展示
2020.06.19	岩手日報	16	知の拠点 入館150万人 町図書館
2020.06.19	盛岡タイムス	1	利用者150万人達成 紫波町図書館 北日語の阿部さんに花束贈呈
2020.08.09	岩手日報	17	夜の図書館集い人生論に耳傾け
2020.09.05	岩手日報	18	33市町村の観光担当が選ぶ1冊 町図書館で企画展示
2020.09.18	盛岡タイムス	6	県内33市町村観光担当者 押しし情報を紹介 「わたしの1冊」も 紫波町図書館企画展
2020.09.20	岩手日報	21	本で`体験、工場見学
2021.02.12	盛岡タイムス	6	不安を可視化し解消へ「感染症と生きる」開催 コロナ禍Q&Aなど
2021.05.17	岩手日報	1	風土計
2021.05.26	岩手日報	18	紫波町図書館で就労相談 あす初回 身近な施設使い定期的に

掲載日	新聞	面	見出し
2021.05.31	岩手日報	21	情報交流館 来館300万人 開館から約9年
2021.09.11	盛岡タイムス	1	身近なものから視野広げ 紫波町図書館 町内で観察できる「花鳥虫月」を紹介
2021.10.10	盛岡タイムス	1	故・浦田敬三さんの「文庫」整備 県立図書館 本県関連図書など閲覧可能 賢治、啄木の本も多数 先人知る貴重な資料も
2021.10.21	岩手日報	17	身近な獣害 考えよう 紫波町図書館 23日トークイベント
2021.10.26	盛岡タイムス	6	鳥獣被害を知って 紫波町図書館が企画展示
2021.10.27	盛岡タイムス	7	本を読めば違ふ自分に 県内図書館で各種催し 紫波町では「どの本読みたい？」
2021.12.02	岩手日報 WEEKLY #mekke JOURNAL	5	リレーエッセイ イワテライフの楽しみ方 図書館づくりの夢を追い掛けて紫波町へ
2021.12.16	岩手日報 #mekke JOURNAL	5	リレーエッセイ イワテライフの楽しみ方 町の課題を解決すべくイベントや企画展を開催
2022.01.14	岩手日報	16	畑と暮らす豊かさ知って 紫波町 遊休地活用へ集い あす、映画や活動報告
2022.06.23	岩手日報	21	紫波の今 聞き書きで後世に 町図書館住民参加プロジェクト 25日始動イベント
2022.08.30	盛岡タイムス	1	人と人をつないで10年 紫波町図書館誕生祭 「これから」考えるトークイベントも
2022.09.01	岩手日報	20	本の泉 人つなぎ10周年 紫波町図書館 多様な企画、催し人気 和気あいあい 誕生祭
2022.09.15	岩手日報	18	商店街の人々紹介ナラシ 「ヒヅメビト図鑑」贈る 県立大の団体、町図書館に
2022.11.12	岩手日報	10	原敬と平井六右衛門 縁探る 紫波町図書館で専門家対談
2022.11.20	岩手日報	16	ミニシアター未来探る 関係者ら「全国会議」

図書 / 雑誌

掲載誌	著者・編者	出版社・者	発行年	資料番号	頁	記事名
「紫波町図書館フォーラム 今、図書館がめざすもの」		紫波町教育委員会	[2006]	5100459444		
「紫波町図書館基本構想・基本計画」		紫波町教育委員会	[2009]	5100363885		
「紫波町情報交流プラザ整備ガイドライン」		紫波町企画課	[2009]	5100345593		
「新建築」 2012年9月号		新建築社	2012	5100480267		紫波町内施設(オガールプラザ)
「紫波町図書館関係資料」		紫波町図書館	[2012]	5100398238		
「10周年記念誌」	紫波町図書館をつくり育てる会	紫波町図書館をつくり育てる会記念誌編集委員会	2013	5200028305	p.111-118	
「ブックシェアリング」 vol.2	荒井 宏明	北海道ブックシェアリング	2013	5100527034	p.3	紫波町図書館紹介記事
「地域活性化志向の公共図書館における経営に関する調査研究」	国立国会図書館関西館図書館協力課/編	国立国会図書館	2014	5100635662	p.27-65	農業サービス支援事業始め(紫波町図書館)
「LRG」 第9号		アカデミックリソース・ガイド	2014	5100556819	p.137	図書館100連発3 紫波町図書館
「LISN」 No.164		キハラマーケティング部	2015	5100806313	p.18-22	設備紹介 地域づくりと図書館—紫波町図書館の事例から
「パブリックレポート」 パブリックトイレと水まわりの最新事例情報誌 Vol.10		TOTO メディア推進部	2015	5100580942	p.3-13	「特集 トイレが公共施設を快適に COMFORTABLE RESTROOMS in PUBLIC PLACES」
「I foret」 2015年10月号		アイフォーレ	2015	5100685154	p.7	紫波町図書館紹介記事
「LRG」 第14号		アカデミックリソース・ガイド	2016	5100684686		
「ダ・ヴィンチ」 2016.4月号		KADOKAWA	2016	5100610871	p.70-71	
「図書館雑誌」 2016.4月号		日本図書館協会	2016	5200069267	p.209, p.211 p.216	複合施設の潮流 図書館からのアプローチ
『町の未来をこの手でつくる』紫波町オガールプロジェクト	猪谷 千香/著	幻冬舎	2016	5100622371		
「のららの」 2016.秋号		農山漁村文化協会	2016	5100601136	p.81	紫波町図書館、こどものうきょう紹介記事
「acute」 2021年4月号		農山漁村文化協会	2016	5100601136	p.35	オリジナルエコ&トードバッグ 紫波町図書館バック紹介記事
「日本農学図書館協議会誌」	日本農学図書館協議会/編	日本農学図書館協議会	2016	5100642205	p.11	紫波町図書館農業支援に関する記事
「広報ひの」 平成29年7月15日号	企画部市長公室/編	日野市	2017	5100603678	p.6	紫波町図書館日野市コーナー紹介記事
「JFMA JOURNAL」		日本ファシリティマネジメント協会	2017	5100656478	p.22	多様な人が集い、つながるための場づくり
「図書館雑誌」 2017.10月号		日本図書館協会	2017	5200089026	p.683	手塚美希(紫波町図書館司書) 寄稿
「LRG」 第20号		アカデミックリソース・ガイド	2017	5100662138	p.6-	図書館のデザイン、公共のデザイン
「日本農学図書館協議会誌」	日本農学図書館協議会/編	日本農学図書館協議会	2017	5100663169	p.1	紫波町図書館の農業支援サービス(内城拓/執筆)
「杉を生かす、杉と生きる」		建築資料研究社	2017	5100685865	p.116	紫波町図書館掲載

掲載誌	著者・編者	出版社・者	発行年	資料番号	頁	記事名
「fam」 2017.冬号		東洋アドシステム	2017	5100663136	p.24	紫波町図書館紹介記事
「LRG」 第21号		アカデミックリソース・ガイド	2018	5100684702	p.104-113	司書名鑑、手塚美希(紫波町図書館司書) 紹介記事
「岩手の林業」 No.722	岩手県林業改良普及協会/編	岩手県林業改良普及協会	2018	5100684611	p.11	紫波町図書館、企画展示、夜のとしよかん紹介記事
「情報の科学と技術」 68巻2号		情報科学技術協会	2018	5100684793	p.78	手塚美希(紫波町図書館司書) 書評執筆
「LRG」 第22号		アカデミックリソース・ガイド	2018	5100686467	p.13-52	公共図書館の可能性
「地域づくり」 2018.4月号		財団法人地域活性化センター	2018	5200094109	p.6-7, p.24-25	紫波町図書館紹介 公民連携から始まる農業支援サービス
「みんなの図書館」 2018.5月号	図書館問題研究会/編	教育史料出版会	2018	5100687093	p.14-15	紫波町図書館紹介記事
「ソトコト」 2018.5月号			2018	5100677375	p.60	人が集まっている場所のつくり方
『すてきな司書の図書館めぐり』	高野 一枝/編著	郵研社	2018	5100679900	p.84	p.82~「東北爆走!〜岩手から宮城を駆けぬぐる〜」紫波町図書館掲載
「地域人」 第33号	地域構想研究所/編集	大正大学出版会	2018	5100687200	p.16-17	紫波町図書館紹介記事
『ホテルに学ぶ図書館接遇』	加納 尚樹/著	青弓社	2018	5100701415	p.44	紫波町図書館紹介記事
「現代の図書館」 2018.6月号		日本図書館協会	2018	5200099066	p.69	紫波町図書館紹介記事
『図書館さんぽ』	図書館さんぽ研究会/[編]	駒草出版	2018	5100707347	p.58-67	紫波町図書館、オガールエリア紹介記事
「YA(ヤングアダルト) 出版会 2019年盛岡研修旅行のまとめ」		YA(ヤングアダルト)出版会	[2019]	5100756500		図書館見学:紫波町図書館紹介記事
「おうみの風」		全国滋賀県人会連合会	2019	5100713030	p.29	岩手県立図書館・紫波町図書館主催 郷土資料講座「紫波に来た近江商人」紹介記事
「未来の図書館研究所調査・研究レポート」		未来の図書館研究所	2019	5100713261	p.35	紫波町図書館関係記事
「こころ」 Vol.48		平凡社	2019	5100718617	p.107	手塚美希(紫波町図書館司書) 寄稿
「観光文化」 43巻4号,2019		日本交通公社	2019	5100747970	p.5, p.37, p.46	紫波町図書館紹介記事
「米国図書館協会(ALA) 2019年次大会『ジャパンセッション』報告書」	ALA2019ジャパンセッション準備委員会/編	ALA2019ジャパンセッション準備委員会	2019	5100748218	p.11-18	p.11-18「司書が人々をつなぎ地域のハブ(要)となる図書館を目指して」手塚美希(紫波町図書館 主任司書) 資料情報
「図書館雑誌」 2020.1月号		日本図書館協会	2020	5200124500	p.19-21	米国図書館協会(ALA)における日本の公共図書館事例発表(報告) 紫波町図書館紹介記事
「いわてダ・ヴィンチ」 住みやすい、働きやすい、岩手の魅力満載		KADOKAWA	2020	5100748622	p.43	司書名鑑、手塚美希(紫波町図書館司書) インタビュー
「第70回北日本図書館大会青森大会記録集」		[第70回北日本図書館大会青森大会事務局]	[2020]	5100756575	p.39-43	紫波町図書館事例発表掲載
「家の光」 2020.11月号		家の光協会	2020	5200133956	p.73	紫波町図書館紹介記事
『まんがあなたもできる!公民連携のまちづくり』岩手オガールで芽吹いたパブリック・マインド	清水 義次/監修	ヨシモトブックス	2021	5100829422		
『本屋と図書館の間にあるもの』		郵研社	2021	5100830198	p.271	初代館長工藤巧寄稿
『日本の図書館建築』		勉誠出版	2021	5100830644	p.214-217	紫波町図書館紹介記事
「第106回全国図書館大会和歌山大会(オンライン大会) 記録」		第106回全国図書館大会和歌山大会実行委員会	2021	5100848927	p.24-26	「司書が人々をつなぎ地域のハブ(要)となる図書館を目指して」手塚美希(紫波町図書館 主任司書) 資料情報
「図書館雑誌」 2021.4月号		日本図書館協会	2021	5200141223	p.198	紫波町図書館について記載あり
「西日本文化」 2021.4		西日本文化協会/編	2021		p.67-69	紫波町図書館について記載あり
「LRG」 第37号		アカデミックリソース・ガイド	2021	5100872075	p.79	「いま、Library of the Yearと向き合う」 「選考委員としての10年余」紫波町図書館の記載あり
「季刊地域」 2021.秋号		農山漁村文化協会	2021	5200139706	p.141	輝く図書館4 司書が出向く「出張としよかん」 農家へ学校へ商店街へ
「紫波町英語版観光ガイドブック」 僕たちの町には何も無いと思っていた	吉田 くるみ/編	[STSH]	[2022]	5100873594		紫波町図書館で私の一冊を見つけに
「リモート職場見学ガイドブック」 地元を知り、学び、働こう!		[もりおかユースポート]	2022	5100908721	p.12	紫波町図書館紹介記事あり
「国際啄木学会盛岡支部会報」		国際啄木学会盛岡支部	2022	5100889756	p.106-108	「トビックス」浦田敬三文庫について: p.106-108紫波町図書館について記載あり
「図書館雑誌」 2022.6月号		日本図書館協会	2022	5200149507	p.320-321	紫波町図書館のインスタグラムに関する記事あり
「図書館雑誌」 2022.9月号		日本図書館協会	2022	5200149713	p.529	紫波町図書館で開催した聞き書きのイベントについて掲載あり
「地域教育経営論」	荻野 亮吾/編著 丹間 康仁/編著	大学教育出版	2022	5100909810	p.113-115	紫波町図書館掲載あり
『司書名鑑』 図書館をアップデートする人々	岡本 真/編著	青弓社	2022	5100899078	p.170-182	司書名鑑、No.16手塚美希(紫波町図書館司書) 紹介記事
「みんなの図書館」 1月号	図書館問題研究会/編	教育史料出版会	2023		p.21-26	紫波町図書館について記載あり

2013年

「スタートだね！」

「か・ぞ・く」

「雨あめふれふれ」

「さあ、外へとびだそう！」

「こわいはなし、好き？」

「どうぶつ～たいせつなともだち～」

「絵本で楽しむ芸術の秋」

「冬がくるまえに」

「ふゆのおと どんなおと」

2014年

「ゆきあそび おうちあそび」

「これ たべてみたいなの！」

「はる みつけ！」

ティーンズ展示
「上橋菜穂子さん国際アンデルセン賞受賞」

「はっけん」

「のやまにあそび」

「この虫してる？」

「うみはひろいな」

「スポーツだいすき」

「うちゅうへのたび」

「これ よんでみて！」

「のりものだいしゅうごう」

「わくわくがいっぱい」

「ふしぎだな！」

2015年

「せかいのくにぐに」

「ひとりのできるかな」

「ちきゅう・だいしぜん」

「きょうりゅうとかせき」

「おひめさまとおうじさま」

こどものうぎょう展示「お米のまき」

「おてがみです」

こどものうぎょう展示「なつやさいのまき」

特別企画展示

「いわての小学生のためのおすすめ図書100選」

「えほんでクッキング」

こどものうぎょう展示「あきのみかくのまき」

「りんりんあきのむし」

「まほう おまじない」

「えほんでせかいりょこう」

「ふゆのおまつり」

こどものうぎょう展示「ふゆをおいしくすごす」

「いろ イロイロ」

2016年

「はるはまだ？」

「むかしむかしのおはなしです」

こどものうぎょう展示「土のちから」

「そとへとびだそう！」

「どうぶつあつまれ～！」

「あめあめふれふれ」

「おそらのほしは」

こどものうぎょう展示
「なつのやさいとくだものまき」

「こわ～いはなしとおばけたち」

「やってみたいな 国体のスポーツ」

こどものうぎょう展示「まってきました！新米のまき」

「いってみたいなの」

「つぎはなによむ？」

こどものうぎょう展示
「農家とはたらきかきのまき」

「ゆきだ！」

2017年

「つくってみよう」

「うたってみましょ」

「ともだちできるかな」

こどものうぎょう展示「この草、なあに？のまき」

「育ててみよう」

「みつけた！」

「この虫なあに？」

「のりものだいかつやく」

特別企画展示「なつやすみおうえん！」

こどものうぎょう展示
「畑をあらすのはだれの？のまき」

「さあ ぼうけんだ！」

「ぼくのかぞく わたしのかぞく」

こどものうぎょう展示
「森に行ってみたら・・・のまき」

「おとをつくろう」

「科学道100冊 ジュニア」

「おいしいふゆ」

特別企画展示
「わが家のおすすめ本POPコンクール入賞作品展」

こどものうぎょう展示
「せかいいさんだよ！ 和食のまき」

2018年

「みんなこどもだった」

「ゆきがとけて」

「あつとおどろくふしぎなえほん」

児童特別展示
「国際アンデルセン賞受賞！角野栄子さん」

「ともだち」

こどものうぎょう展示
「みんなでそだててみる！のまき」

「ふしぎないきもの」

「伝記」

「こわい！」

「きょうはパーティ！」

「みんなアーティスト」

「あそびだいけんきゅう」

こどものうぎょう展示
「農家とくらすどうぶつのまき」

「おしごと」

「なぞにちょうせん」

2019年

「かぞえてみよう」

「からだのひみつ」

「はるみつけた！」

「はじめまして」

こどものうぎょう展示「たねまきたねまきのまき」

「めいたんてい、あらわる」

「もしも…」

「できた！」

「水」

「こんなことがありました」

「じゅるり」

「世界中で読まれている本」

「みる しる かんじる」

「初笑い」

2020年

「あじわう詩歌」

「おしごと」

「おひっこし」

「司書のおすすめ絵本3冊セット」

「わかったぞ！」

「あつ～い」

「日本のこわいと世界のこわい」

「本で工場見学！」

「このみ、なんのみ？きになるみ」

「どの本、読みたい？」

「おくりもの」

2021年

「キラキラするものなあに？」

「からだのひみつ」

「めざめの春？ねむい春？」

「きみのともだち」

「うちゅうはどこまで」

「どうやってしらべるの？」

「この本見てみて！」

「わたしのお月さま」

「どの本読みたい？2021」

「ほかほかぐ～っ」

2022年

「ウシからトラへ」

「むかし、あるところに…」

「まかせて！」

「おさんぽ」

「ヒーロー」

「こころってなあに？」

「この本見てみて！」

「いまのおきにいり！わたしの1冊」

「たくさんとれた」

「こうしてできる」

「サンタクロース！」

2023年

「トラからウサギへ かたちたちかわった？」

2012年

- 企画展示「まちづくり」
- 図書館開館記念企画展示「わたしの1冊」
- 24年度読書週間（10月27日～11月9日）開催行事について
- 岩手県立図書館巡回展示「新渡戸稲造と『武士道』——生誕150年記念——」
- 企画展示「冬じたく」
- 企画展示「2012年をふりかえる」

2013年

- 企画展示「冬の楽しみたかた。寒い冬こそ外に出掛けよう」
- 企画展示「福笑い 1年のはじまりは笑いから」
- 企画展示「北欧と東北の暮らし」
- 企画展示「はじめよう！新しいこと」
- 岩手の読書週間2013企画展示「映画になったこどもの本」
- 企画展示「土いじりのすすめ」
- 企画展示「わたしから始める 身近な防災・減災・ボランティア」
- 企画展示「続・土いじりのすすめ」
- 特別企画展示「外に行きたくなる本」
- 特別企画展示「こどもの本の受賞作」
- 特別企画展示「母の日」
- 岩手県立図書館巡回展示「文学賞受賞図書展」
- 企画展示「しわの農を知る」
- 特別企画展示「父の日」

- 企画展示「日本人が見た世界・世界が見た日本人」
- 企画展示「あの一ひとの人生相談」
- 企画展示「わたしの1冊」
- 第67回読書週間一般企画展示「本でめぐるしきたりの旅」
- 一般企画展示「これを読むならこれも！——2冊セットで読みたい本——」
- 一般企画展示「スポーツで紫波から世界へ」

2014年

- 一般企画展示「1本の木から」
- 一般企画展示「翼聖歌と新美南吉」
- 一般企画展示「小松左京と空想科学小説」
- 一般企画展示「走れ！移動図書館——本と人と心をつなぐ——」
- 一般企画展示「紫波町の水の歴史」
- 一般企画展示「4年に一度サッカーの祭典——世界が熱狂する31日間——」
- 歴史時代小説クラブ賞受賞作品展
- 一般企画展示「TEENS！」
- 一般企画展示「プラザ・ベース・タウン・紫波町」
- 一般企画展示「わたしの1冊 出会えてよかった本」
- 一般企画展示「開校！ただようまなびや文学の学校 岩手分校2014」
- 特別展示「夜のとしょかん第3夜」
- 一般企画展示「紙々の世界」
- 一般企画展示「次の本との出会い方 『次の本へ』編」

2015年

- 特別企画展示「スポーツ栄養講習会 関連展示」
- 特別企画展示「まちづくり大交流市」
- 特別企画展示「おんなの防災フェスタ in IWATE」
- 一般企画展示「みんなで応援！紫波の子育て」
- 一般企画展示「紫波のキッチン・ガーデン」
- 特別企画展示「Just feel the air Jeep展示会in オガール紫波関連展示」
- 一般企画展示「山が好き！やまとほん」
- 一般企画展示「想いを伝えたい 恋するあなたへ」
- 一般企画展示「戦後70年 私たちのまちにもあったこと」
- 特別企画展示「いわての小学生のためのおすすめ図書100選」
- 一般企画展示「ごちそうとしょかん」
- 一般企画展示「わたしの1冊」
- 一般企画展示「自転車のまち」
- 一般企画展示「シークレット・ブック オビの子カラ」
- 特別企画展示「わが家のおすすめ本POPコンクール入賞作品展」
- 特別企画展示「第1回紫波町図書館調べる学習コンクール入賞作品展」
- 一般企画展示「次の本との出会い方『続・次の本へ』編」

2016年

- 岩手県立図書館巡回展示「文学賞受賞図書展」
- 一般企画展示「文化をつなぐ！まちの出版社」

- 一般企画展示「家族史探究！先祖をたどる」
- 一般企画展示「民藝・手仕事を伝える人 追悼・久野恵一さん」
- 特別企画展示「第1回紫波町図書館調べる学習コンクール入賞作品展」
- 一般企画展示「Teens！音楽してみる？」
- 一般企画展示「わたしの1冊」
- 一般企画展示「いよいよ始まる！いわて国体in紫波」
- 一般企画展示「映画よ再び！——映画好きたちの今昔集——」
- 一般企画展示「ありがとう4周年！Welcome to 紫波町図書館 あの一ひとのサイン本」
- 特別企画展示「わが家のおすすめ本POPコンクール入賞作品展」
- 一般企画展示「シークレット・ブック——オビで伝える。——」

2017年

- 一般企画展示「未来をえがく オガールセンター」
- 特別企画展示「第2回紫波町図書館調べる学習コンクール入賞作品展」
- 一般企画展示「つながるとしょかんとつながるライブラリー・オプ・ザ・イヤー2016受賞館展」
- 一般企画展示「オガールスタート」
- 岩手県立図書館巡回展示「岩手の山々」
- 一般企画展示「科学道100冊『知りたい！』が未来をつくる」
- 一般企画展示「自分の頭で考える——情報の海を泳いでいくために——」
- 一般企画展示「わたしの一冊 紫波×働く」
- 岩手県立美術館連携展示「花森安治の仕事」
- 岩手県内図書館連携企画展示「STOP! 肥満症」

一般企画展示「大切な人が認知症になったら からだと向き合う1」
岩手県立美術館連携展示「エリック・カール展 The Art of Eric Carle」
一般企画展示「森のしごとが好き！」
一般企画展示「シークレットブック ― オビは語る ―」

2018年

一般企画展示「なかよし しまいとし 古殿・日野・サザンダウンズ」
一般企画展示「3月のテッドウ物語」
一般企画展示「紫波をさがせ！ 200万冊から宝さがし」
一般企画展示「拝啓 この本読んだ？」
岩手県内図書館連携企画展示「あなたの歯、大丈夫？」
一般企画展示「辞書&図鑑フェス ― 名前のないものはない ―」
一般企画展示「わたしの1冊」
岩手県立美術館連携展示「ブルーノ・ムナーリ 役に立たない機械をつくった男」
一般企画展示「紫波のデザインをさがそう」
岩手県内図書館連携展示「見つけよう！ 介護のヒント」

2019年

一般企画展示「シークレット・ブック ― オビを楽しむ ―」
一般企画展示「大切な人ががんになったら からだと向き合う2」
一般企画展示「拝啓、この本読んだ？ 紫波町編」
五所川原市立図書館連携展示「太宰治生誕110年記念全国の図書館で太宰治資料展in紫波町図書館」

岩手県内図書館連携企画展示「煙に巻かない、たばこの話」
一般企画展示「紫波の有線放送を知っていますか？ ― 心をつないだ60年 ―」
特別展示「投票へ行こう」
特別展示「紫波の有線放送を知っていますか？ ― 心をつないだ60年 ―」
一般企画展示「わたしの1冊」
特別展示「9/10は下水道の日」
特別展示「ペアレンピアフェスト」
イワテきのこ大祭連携展示
一般企画展示「『聞き書き』って、なんだろう？」
特別展示「シークレット・ブック ― オビで選ぶ ―」
一般企画展示「理系でも文系でも！ 2020年に読みたい『科学道100冊』」

2020年

一般企画展示「大切な人が心に不調をかかえたら からだと向き合う3」
特別展示「追悼 伊藤清彦氏」
岩手県立巡回展示「岩手の馬文化」
一般企画展示「本との出会いをつくる人 追悼・伊藤清彦氏」
特別展示「啄木鳥探偵處」
一般企画展示「Stay Home + 新しいわたし」
岩手県立巡回展示「深沢省三・紅子の仕事―挿絵と文学―」
一般企画展示「この情報、信じていいの？ 自分の頭で考える2」
一般企画展示「わたしの1冊 いわて33再発見！」

特別展示「9/10は下水道の日」
夜のとしょかん連携展示「これからのくらしのかたち展 となりの家を覗いてみよう」
連携展示「『里親』って、なんだろう。」
一般企画展示「科学道100冊2020「知りたい！」が岩手の未来をつくる」
特別展示「シークレットブック ― オビで出会う ―」

2021年

一般企画展示「『暮らし心地の良いまち』ってなんだろう？ やさしい場所編」
一般企画展示「感染症と生きる からだと向き合う4」
一般企画展示「3.11と紫波」
岩手県立巡回展示「岩手の保健福祉 1960～70年代を中心に」
一般企画展示「はじまりのこぼ」
岩手県立図書館巡回展示「おらほのこぼ～橋正一没後80年～」
一般企画展示「知る！ 観る！ エール！ カナダとバレーボール」
岩手県立図書館巡回展示「文学賞受賞図書展」
特別展示「啄木鳥探偵處」
一般企画展示「わたしの1冊 花鳥虫月」
岩手県立図書館巡回展示「いわての神楽」
特別展示「9/10は下水道の日」
連携展示「選挙ってなんだろう？」
一般企画展示「知って防ごう！ 鳥獣被害」
一般企画展示「『在宅医療』って、どんなこと？ わたしの「生きる」を考える からだと向き合う5」

2022年

特別展示「シークレットブック ― オビの誘惑 ―」
連携展示「畑のある暮らし×紫波町図書館」
一般企画展示「科学道100冊「知りたい」が開く未来のトビウ」
一般企画展示「まちの記憶を記録する ― 「聞き書き」編」
岩手県立図書館巡回展示「近代いわての歌人・俳人」
一般企画展示「この町で暮らすこと ― わたしの紫波町案内 ―」
連携展示「紫波町の水はどこから来るの？」
一般企画展示「からだと向き合う6 知りたい、あなたの「ふつう」 知ってほしい、わたしの「ふつう」」
岩手県立図書館巡回展示「手作り絵本展」
一般企画展示「わたしと図書館 わたしの1冊」
特別展示「9/10は下水道の日」
特別展示「木村紅美さんBunkamuraドゥマゴ文学賞受賞&映画上映記念展示」
特別展示「がん検診って何だろう？」
岩手県立図書館巡回展示「今こそ、縄文。」
特別展示「シークレットブック ― オビが導く ―」
一般企画展示「わたしたちの学校」

2023年

一般企画展示「科学道100冊「知りたい！」が未来をつくる」

イベント一覧

紫波町図書館で開催された様々なイベントをご紹介します。

イベント名	講師・ゲストスピーカー
2013年	
講習会「図書館でつかむ農業のヒント『ルールラ電子図書館』を活用しよう！」	講師：(一社)農山漁村文化協会 谷口 環樹氏
2013ブッククラブ	ファシリテーター： ハワード・ドナルド・ジェファーソン氏
「ルールラ電子図書館」を体験してみませんか？ 第2回ルールラ電子図書館講習会	講師：(一社)農山漁村文化協会 藤井 宏一氏
オガールプラザOPEN 1周年記念イベント OGAL Next WAY	【第1部】ライブラリートーク&セッション ①ライブラリートーク 山口正洋氏 「ぐっちゃん 世界とオガールを語る」 ②ウェブセッション「Next WAY」 山口正洋氏、清水義次氏、藤原孝氏、岡崎正信氏 【第2部】記念パーティー
紫波町情報交流館開館一周年記念 葛西道之孔版画展	
夏休み特別イベント① 南極の氷がやってくる！	
夏休み特別イベント② めざせ！としょかんマスター	対象：小・中学生20人
紫波町図書館開館1周年記念イベント ライブラリートーク&セッション	ライブラリートーク「文化よオガレ そして世界にカオレ」／紫波町教育委員会教育長 侘美 淳氏/セッション「紫波の文化をオガラせる」侘美 淳氏、野村 晴一氏、岡崎 正信氏
末盛千枝子さん講演会	講師：末盛 千枝子氏
一般企画展示「本でめぐる しきたりの旅」 関連講演会 二十年に一度 ご遷宮のあれこれ	講師：岩手県神社庁理事/月山神社宮司 一條 善人氏
冬休み子どもイベント めざせ！しらべものマスター	
2014年	
D1-Law（法情報データベース）講習会	講師：第一法規(株)関東営業第一部 山内 享郎氏
2014 BOOK CLUB starts a new season.	ファシリテーター： ハワード・ドナルド・ジェファーソン氏
「ルールラ電子図書館」を体験してみませんか？ 第3回ルールラ電子図書館講習会	講師：(一社)農山漁村文化協会 藤井 宏一氏
夜のとしょかん、第1夜。 「知って得するめっちゃ面白い農の話」	ゲストスピーカー： 河野 和広氏 ((一社)しわ・まち・コーディネート)
サイエンスおはなし会	対象：小学1～4年生
調べ学習講座「調べるって楽しいな！」	対象：小学3～4年生

イベント名	講師・ゲストスピーカー
夜のとしょかん、第2夜。 「知って得するめっちゃ面白い星の話」	ゲストスピーカー： 八木 淳一郎氏 (盛岡天文同好会代表理事)
2014 BOOK CLUB starts the second season.	ファシリテーター： ハワード・ドナルド・ジェファーソン氏
白田夜半氏講演会 『ネロの木靴——「フランダースの犬」ネロはなぜ自殺したのか』を通して「いのちと希望」について考える	協力：(一社)しあわせ計画舎、さわや書店、 (一社)もりおかナラティブ勉強会
ただようまなびや 文学の学校 岩手分校 2014	講師：古川日出男氏 (小説家)、川上弘美氏 (小説家)、 柴田元幸氏 (翻訳家)、大友良英氏 (音楽家)、 沢村鐵氏 (小説家)
夜のとしょかん、第3夜。「現代の手仕事の話」	ゲストスピーカー：久野 恵一氏 (手仕事フォーラム代表) 小田中 耕一氏 (型染職人)
サイエンスおはなし会	対象：年中児～小学2年生
2015年	
真冬のトークイベント 面白い本と出会う方法	講師：石井 伸介氏 ((株) 苦楽堂代表)、伊藤 清彦氏 (一 関市立一関図書館副館長/元さわや書店本店店 長)、早川 光彦氏 (富士大学教授/前南相馬市 立中央図書館副館長)
サイエンスおはなし会 環境学習交流センター出張講座	対象：小学1～4年生
夜のとしょかん、第4夜。 「現代の名工が語る日本酒の話」	ゲストスピーカー： 藤尾 正彦氏 (南部杜氏・2005年度「現代の名工」)
2015 BOOK CLUB start	ファシリテーター： ハワード・ドナルド・ジェファーソン氏
夜のとしょかん、第5夜。 「企業世話人セキヤンが語る経営のはなし」	ゲストスピーカー：関 洋一氏 (ザ・オフィスせき代表)
調べる学習コンクール講習会	講師：藤田 利江氏 (学校図書館スーパーバイザー) 対 象：小学3～4年生 (他の学年でも参加できます。)
サイエンスおはなし会	対象：小学1～4年生
夏休み調べる学習応援！	対象：小学3～4年生
夜のとしょかん、特別編。 「町内の戦争体験者が語る私たちのまちにもあったこと」	話し手：石杜 祥夫氏・瀬川 智子氏・高橋 良雄氏 聞き手：長澤 聖浩氏
夜のとしょかん、農業編。 「今日もバイクで営業中！『現代農業』のつくりかた」	ゲストスピーカー： 柳島 かなた氏 ((一社)農山漁村文化協会普及部東北支部)
錦秋のトークイベント ミステリーがうまれるとき	ゲストスピーカー：有栖川 有栖氏 (作家/日本推理作 家協会理事/本格ミステリ作家クラブ初代会長) 北村 薫氏 (作家/日本推理作家協会理事/本格ミステリ作 家クラブ二代目会長) 戸川 安宣氏 (編集者/日本推理 作家協会会員/東京創元社前社長)
疑問を解決！法律のクイズにチャレンジ	対象：小学3年生～中学生 講師：第一法規(株) 星 亜希子氏 (仙台営業部) 山内 享郎氏 (関東営業第一部)

イベント名	講師・ゲストスピーカー
2016年	
真冬のトークイベント 面白い本と出会う方法2	講師：岡本 真氏（アカデミック・リソース・ガイド(株)代表取締役）、山内 宏泰氏（リアス・アーク美術館 学芸員）、石井 伸介氏（出版社(株)苦楽堂代表）
夜のとしよかん、第6夜。 「生誕130年 啄木と紫波の人々」	ゲストスピーカー：森 義真氏（石川啄木記念館長） 山田武秋氏（桜出版代表取締役）
2016 BOOK CLUB start	
家族史探究！新聞編	講師：永原 香代子氏／読売新聞東京本社メディア局データベース部
サイエンスおはなし会	対象：小学1年～4年生
夜のとしよかん、第7夜。 「紫波にいた！船笥職人」	ゲストスピーカー： 木戸 良平氏（船笥職人／船笥工房「はこや」）
第2回 紫波町図書館調べる学習コンクール 調べる学習講習会2016	講師：藤田 利江氏（学校図書館スーパーバイザー） 対象：小学3年～4年生
夜のとしよかん、オガール祭り編。 「映画館の楽士が奏でるゴーシュの世界 賢治と嘉藤治 生誕120年」	ゲストスピーカー： 柳下 美恵氏（サイレント映画ピアニスト）
めざせ！調べものマスター	対象：小学3年～4年生
みちくさ学校「摘んで、飾って、秋のおさんぽ」	講師： 佐々木 知幸氏（造園家／樹木医／ネイチャーガイド）
夜のとしよかん、第8夜。 「『つなぐビール』サイドストーリー」	ゲストスピーカー： 鳶田 洋一氏（ベアレン醸造所専務取締役） アシスタント： 高橋 司氏（ベアレン醸造所マーケティングチーム部長）
えほんライブ「絵本&おてて絵本よみまショー」	講師：サトシン氏（絵本作家）
出張としよかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：柳島 かなた氏（(一社)農山漁村文化協会東北支部）
2017 BOOK CLUB start	
オガール×図書館シンポジウム	講師：猪谷 千香氏「図書館のいま」 パネルディスカッション「オガールのこれから」、 モデレーター：猪谷 千香氏、パネリスト：紫波町オガール・ デザイン会議、委員長 清水 義次氏（アフタヌーンソ サエティ）、委員：長谷川 浩己氏（オンサイト計画設 計事務所）、委員：佐藤 直樹氏（Asyl）、委員：松永 安光氏（近代建築研究所）、委員：竹内 昌義氏（みか んぐみ）
2017年	
サイエンスおはなし会	対象：小学1～6年生
出張としよかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：柳島 かなた氏（(一社)農山漁村文化協会東北支部）

イベント名	講師・ゲストスピーカー
ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016 受賞記念サミットin紫波	ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016優秀賞受賞館 兵庫県 伊丹市立図書館「ことば蔵」（大賞受賞）、東京学芸 大学学校図書館運営専門委員会（オーディエンス賞・優秀賞 受賞）、大阪産業労働資料館 エル・ライブラリー（優秀賞受賞）
夜のとしよかん、第9夜。 「ぼくの紫波ライフ」	ゲストスピーカー： ハワード・ジェフ氏（「ハワード・イングリッシュ・ク ラブ」代表／講師）、石川 ペギー氏（英会話講師）
出張としよかん 「あおぞらおはなし会 in 紫波春マルシェ@日詰」	
サイエンスおはなし会	対象：4歳～小学1年生
調べる学習親子教室——入門編——	対象：小学1～6年生
夜のとしよかん、第10夜。 「やわらかな物質を科学する ——銃弾を受け止めるお菓子はどれ?!——」	ゲストスピーカー：瀬戸 秀紀氏（高エネルギー加速器 研究機構（KEK）物質構造科学研究所教授）
ふしぎかいけつ！調べる学習マスター2017	講師：藤田 利江氏（学校図書館スーパーバイザー） 対象：午前の部 小学1～2年生 午後の部 小学3～4年生
めざせ！調べものマスター 2017	対象：小学3～4年生
出張としよかん 「あおぞらおはなし会 in しわくらす・夏@日詰」	
オガール祭り特別企画 「あなたの思い出の本探します。メモリー・ブックカ フェ」	
オガール祭り特別企画 「としよかん探偵団 紫波町図書館のひみつをさぐ れ！」	対象：小学生以上
岩手県立美術館連携展示特別トークイベント 「元暮しの手帖編集部、加川さんに聞く 『暮しの手帖』あれこれ」	ゲストスピーカー： 加川 厚子氏（元「暮しの手帖」編集部員）
夜のとしよかん、第11夜。 「ここダケのきのこづくしの話」	ゲストスピーカー：高橋 久祐氏（きのこアドバイザー ／盛岡市外山森林公園管理人）
サイエンスおはなし会	対象：4歳～小学2年生
なんでもきいてみよう！認知症相談	協力：紫波町長寿健康課 高齢者支援室
夜のとしよかん、林業編。 「魅力山モリ！『お山ん画』で伝える森のしごと」	話し手：平田 美紗子氏（林野庁図書資料館『お山ん画』 作者）、板垣 靖氏（林野庁図書資料館 国立国会図書館 支部 林野庁図書館長）、菅原 和博氏（(一社)紫波町農林 公社 森林循環アドバイザー） 聞き手：高橋 忠幸氏（岩手県林業技術センター首席林 業普及指導員）
出張としよかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：柳島 かなた氏（(一社)農山漁村文化協会東北支部）
紫波町図書館5周年記念トークイベント 「図書館にデザインは必要か？」	トークゲスト：佐藤 直樹氏（Asyl）、小田中 耕一氏（染 工房 小田中）、五日市 美子氏（工房 蟻） コーディネーター：李 明喜氏（アカデミック・リソー ス・ガイド(株)）

イベント名	講師・ゲストスピーカー
2018年	
出張としゃかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：柳島 かなた氏（(一社)農山漁村文化協会東北支部）
紫波町図書館5周年記念 夜のとしゃかん、第12夜。 「伝えることと、伝えること。 ——地域メディアのコミュニケーション——」	ゲストスピーカー：落合 昭彦氏（えふえむ花巻(株)放送局長／元めんこいテレビアナウンサー）
2018 BOOK CLUB Season 1 The Remains of the Day starts	
夜のとしゃかん、第13夜。 『岩手の山150』著者と 山岳ガイドが語るよも山ばなし」	ゲストスピーカー：阿部 陽子氏（登山家／版画家）、 山田 孝男氏（岩手山岳ガイドクラブ代表）
ふしぎかいけつ！調べる学習マスター2018	講師：藤田 利江氏（学校図書館スーパーバイザー） 対象：午前の部 小学1～2年生 午後の部 小学3～4年生
図書読み聞かせボランティア研修会 「本の楽しさを子どもたちに」	講師：伊藤 明美氏（日本女子大学・清泉女子大学非常 勤講師／元浦安市立中央図書館司書）
book bar 開店します	講師：小山 由香理氏（Pono books&time）、長江 貴士氏（さわや書店フェザン店）、早坂 大輔氏 （BOOKNERD）
2018 BOOK CLUB Season 2 Pride and Prejudice starts	
おはなしまつり	協力：読み聞かせボランティア（おはなしの森、かく れんぼ、本のしずく、おはなしパフェ、しゃ・ べ～る、となりのトトロ）
夜の紙芝居	TOHOKU紙芝居の会
夜のとしゃかん、第14夜。 「みんなが幸せになるレシピ本を、岩手でつくる」	ゲストスピーカー： 阿部 静氏（はちすずめ菓子店 店主）、北山 公路氏 （Office風屋）、高橋 菜摘氏（723DESIGN）
世界遺産「平泉」出前講座	講師：富手 冬樹氏（盛岡教育事務所 社会教育主事）、 坂本 アキ子氏（協議会専門職員）
出張としゃかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：水野 隆史氏（(一社)農山漁村文化協会）
岩手県内図書館連携展示 「見つけよう！介護のヒント」介護用品相談会	協力：(株)アルプスビジネスクリエーション紫波営業所
平成30年度 郷土資料講座 「紫波に来た近江商人」	講師：村井 研一郎氏（(株)村源代表取締役会長／岩手県 滋賀県人会・近江商人末裔会会長）、三島 黎子氏（作 家／岩手日報「南部杜氏の源流 近江商人といわて」毎 週日曜日連載中）
夜のとしゃかん、第15夜。 「薪割りリストが語る、火のある暮らし」	ゲストスピーカー： 深澤 光氏（花巻市大迫町在住／薪割りリスト）

イベント名	講師・ゲストスピーカー
2019年	
真冬のトークイベント 面白い本と出会う方法3 本との出会いに「まちの本屋」ができること	講師：伊藤 清彦氏（一関市立一関図書館副館長）、田 口 幹人氏（ORIORI produced by さわや書店）、松 本 大介氏（さわや書店フェザン店）、長江 貴士氏（さ わや書店フェザン店）
出張としゃかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：水野 隆史氏（(一社)農山漁村文化協会）
夜のとしゃかん、第16夜。 「岩手発！japen®、フランスへ行く」	ゲストスピーカー：菊池 保宏氏（「pen.」代表）、石 沢 友紀氏（岩手県産産業経済交流課海外マーケット担当）
夜のとしゃかん、第17夜。 「方言を唄っこさせよう！」	ゲストスピーカー： 田口 友善氏（シンガーソングライター）
ふしぎかいけつ！調べる学習マスター2019	講師：藤田 利江氏（学校図書館スーパーバイザー） 対象：午前の部 小学1～2年生 午後の部 小学3～4年生
詩をつくるワークショップ「ことばの泉に降りていく」	講師：覚 和歌子氏（詩人・作詞家）
夜のとしゃかん、第18夜。 「デザインはまちを元気にする」	ゲストスピーカー： 吉田 つとむ氏（デザイン事務所マルツ工房）
図書読み聞かせボランティア研修会 「よみかかせきほんのき」	講師：高橋 美知子氏（NPO法人うれし野こども図書 室 理事長）
夕暮れ紙芝居	TOHOKU紙芝居の会
2019年度 文学・歴史伝承講座 「平泉藤原氏と紫波の樋爪氏との関わり」	講師： 金野 静一氏（日本教育公務員弘済会岩手支部 顧問）
夜のとしゃかん、第19夜。 「紫波の野鳥にときめいて♥」	ゲストスピーカー： 藤澤 幸代氏（紫波町在住 野鳥愛好家）
おんがくとしゃかん、第1夜。 「ものがたりに音楽をのせて」	音楽解説：野村胡堂・あらえびす記念館
岩手保健医療大学 出前講義 「がんと言われたら 自分らしく"がん"と向き合うために」	講師：石井 真紀子氏（岩手保健医療大学 看護学部 講師） がん患者・家族会：岩手ホスピスの会、盛岡かたくり の会、日本オストミー協会岩手県支部、岩手喉友会
出張としゃかん 「観て学ぶ 野菜づくり名人になる！コツと裏ワザ！」	講師：水野 隆史氏（(一社)農山漁村文化協会）
2020年	
地域とつながる図書館フォーラム in 紫波	
ふしぎかいけつ！調べる学習マスター2020	講師：藤田 利江氏（学校図書館スーパーバイザー／ NPO学校図書館実践活動研究会理事） 対象：午前の部 小学1～2年生 午後の部 小学3～4年生
夜のとしゃかん、オガール祭り編。 「好きなしごとと生きる。『馬と生きる』ができるまで」	ゲストスピーカー： 澄川 嘉彦氏（『馬と生きる』著者／映像作家）

イベント名	講師・ゲストスピーカー
夜のとしよかん、第21夜。 「アフターコロナの住まい方」	ゲストスピーカー:佐々木 新氏(「人toひと」編集長)、有原 寿典氏(建築デザイナー)、佐々木 琢子氏(「たまくさ」代表)
第1回 紫波町図書館地域を知る講座 「南部杜氏の源流をひもとく」	【第1部 講演】 三島 黎子氏(作家/『南部杜氏の源流』著者) 【第2部 トークイベント】 コーディネーター:工藤 巧氏(元紫波町図書館長) 登壇者:三島 黎子氏、梅澤 努氏(一社)南部杜氏協会会長)、松井 詩氏(2020 Miss SAKE Japan)
図書読み聞かせボランティア研修会 「よみきかせきほんのき——わらべうた・手遊び編」	講師:野坂 純子氏(絵本とおはなしの勉強会「はらぺこ本のむし」代表)

2021年

出張! もりおか若者サポートステーション 適職診断・就活相談会	協力:もりおか若者サポートステーション
夜のとしよかん、第22夜。 「3.11とわたし」	ゲストスピーカー:菊池 鏡子氏(大槌会代表)、西條 嘉吉氏(ひまわり)、水本 千恵子氏(NPO法人古館まちづくりの会)、高橋 早苗氏(日誌公民館指導員)
もりサボ就労相談会in紫波町図書館	
ふしぎかいけつ! 調べる学習マスター2021	講師:藤田 利江氏(学校図書館スーパーバイザー/NPO学校図書館実践活動研究会理事) 対象:はじめて編 小学1~3年生 ステップアップ編 小学3~6年生
夜のとしよかん、オガール祭り編。 「車いすテニスの世界を描く。 小説『パラ・スター』ができるまで」	ゲストスピーカー: 阿部 暁子氏(作家/『パラ・スター』著者)
図書館「なぞ解き」イベント「ひゃっか王からの挑戦状」	対象:小学3~6年生
夜のとしよかん、農業編。 「獣害対策の秘訣、教えます!」	ゲストスピーカー:山内 貴義氏(岩手大学農学部准教授)、近藤 雄太氏(岩手大学修士課程2年)、池田 毅氏(赤沢地区2区行政区長)
紫波町図書館×もりサボコラボセミナー	協力:もりおか若者サポートステーション
図書読み聞かせボランティア研修会 「よみきかせきほんのき」	講師:野坂 純子氏(岩手県立図書館ボランティア)
夜のとしよかん、第23夜。 「32歳、いきなり親の介護がやってきた。 娘のわたしが思うこと。」	話し手:あまの さくや氏(エッセイスト/紫波町地域おこし協力隊) 聞き手:菅原 茉莉氏(ライター/インタビュアー)
「みんらぼカード」で自分の生きるを考える体験会	案内人:(一社)みんなの健康らぼ 杉山 賢明氏、綿引 奈苗氏、坪谷 透氏

2022年

もしサボ就労相談会&もりサボコラボセミナー	協力:もりおか若者サポートステーション
出張としよかん「知って防ごう! 鳥獣被害」	講師:水野 隆史氏(一社)農山漁村文化協会)

イベント名	講師・ゲストスピーカー
夜のとしよかん、第24夜。 「88歳、繕いで新たないのちを吹き込む暮らし」	話し手:三上 れい子氏(リフォーマー/リフォーム・ガーネット主宰) 聞き手:古澤 亜澄氏(服飾家、グランマファーム代表)
聞く・書く・伝える 誰でもできる! 「聞き書き」のはじめかた	講演会「聞き書きだからこそ伝わるまちの記憶」 講師:澁澤 寿一氏(NPO法人共存の森ネットワーク理事長) 映画「森聞き」上映会 ワークショップ「やってみよう! 「聞き書き」 講師:塩野 米松氏(作家、聞き書きの名手)
ふしぎかいけつ! 調べる学習マスター2022 【紫波町図書館調べる学習コンクール応援企画】	講師:藤田 利江氏(学校図書館スーパーバイザー/NPO学校図書館実践活動研究会理事) 対象:はじめて編 小学1~3年生 ステップアップ編 小学3~6年生
「みんらぼカード」で自分の生きるを考える体験会	案内人:(一社)みんなの健康らぼ 杉山 賢明氏、綿引 奈苗氏、坪谷 透氏
夜のとしよかん、オガール祭り編。 「その国のその暮らし、その理由」	話し手:あまの さくや氏(エッセイスト/チェコ親善アンバサダー) 聞き手:只松 靖浩氏(遠野市地域おこし協力隊)
10周年記念図書館誕生祭	【第1部】交流型ブース展示「つながる図書館」 【第2部】参加型トークイベント「これから図書館」
夜のとしよかん、第25夜。 「平井六右衛門と『平民宰相』原敬 二人の出会いから別れまで」	ゲストスピーカー: 内城 弘隆氏(町内郷土史家/『平井六右衛門政治郎伝』著者)、清水 唯一朗氏(慶応義塾大学総合政策部教授、『原敬』著者)
聞き書きスト養成講座	講師:塩野 米松氏(作家、聞き書きの名手)
図書読み聞かせボランティア研修会 「よみきかせきほんのき」	講師:①野坂 純子氏(絵本とおはなしの勉強会「はらぺこ本のむし」代表) ②高橋 美知子氏(NPO法人うれし野こども図書室理事長)
第2回 紫波町図書館地域を知る講座 「もう一つの平泉 奥州藤原氏第二の都市・比爪」	講師:羽柴 直人氏 (『もう一つの平泉 奥州藤原氏第二の都市・比爪』著者)

2023年

夜のとしよかん、第26夜。 「ポッドキャスト」ってなんだろう? 柳下・今井・檜山のハッシュタグ紫波ラジオ	ゲストスピーカー: 柳下 恭平氏(校閲者/榊鳴来堂代表)、今井 雄紀氏(編集者/榊ツドイ代表)、檜山 雄介氏(紫波町の情報発信団体「しわりり」のものづくり担当) 聞き手:菅原 茉莉氏(「盛岡という星で」編集部)
みつめてみようあなたのこころの健康	協力:紫波町健康福祉課
夜のとしよかん、第27夜。 居心地がいい場所が暮らしの中にあること ~畑楽多縁とフキデチョウ文庫~	ゲストスピーカー:星 真土香氏(コミュニティナース) 聞き手:沼田 雅充氏(一社)シアワセ計画舎代表理事)

ゼロからのスタート、 そして変わらぬもの

紫波町図書館
アドバイザー

やまざき ひろき
山崎 博樹



紫波町図書館 10 周年、おめでとうございます。私が紫波町の図書館準備に関わってから早いもので 18 年が経ちました。当時、紫波町では全国レベルでも優れた公民館図書室が運営されていましたが、本格的な図書館設置は初めてであり、また図書館の必要性についての理解も十分なものではなく、まさしくゼロからのスタートでした。一方で、町長や役場の担当の方々の図書館づくりへの戦略的で揺るぎがなく、熱心な住民の方々の活動を見るにつけ、私もできる限りお手伝いをしたいと思いました。新図書館基本構想委員長を務めたあと、私の役割も終わったと思いましたが、図書館設計や運営相談にも引き続き関わることになり、毎月のように紫波町を訪れることになりました。その時、私が考えていたのは「しっかりとした図書館をこの町に」ということでした。その思いは、公民連携室やオガールのみなさん、準備から関わった司書の手塚さんをはじめ多くの方々の努力で、予想を超えたレベルで実現されました。図書館オープン後も努力は続けられ、ライブラリー・オブ・ザ・イヤーの受賞、全米図書館協会年次大会での発表も含め、全国屈指の図書館として国内外に知られています。

これまで、図書館がしっかりと利用されるには資料、施設、人（職員）の 3 要素の充実が必要とされてきました。この中で最も大事な要素は人にあることは言うまでもありません。近年は、人の要素に住民を加えて考えるようになりました。その点、紫波町図書館は開館当時から、住民と職員が共に活動してきたと思います。もうひとつの人の部分は、初代館長の工藤さんから続く、職員の笑顔です。岩手日報に「紫波町図書館の職員の笑顔が素敵で、また来たくなります。」と紹介されていた記事を読んだ時は、紫波町図書館のことを誇りに思いました。

今、図書館は変革の時代を迎え、デジタル活用や交流の場として、その役割の拡張が求められていますが、永遠に完成される存在ではなく、常に向上努力が求められる有機体です。一方で、私は紫波町図書館を訪れる度になぜか幸せな気持ちにさせられ、それが大きな魅力です。紫波町図書館が、住民にとっていつまでもそうあって欲しいと祈念しています。

あしがきにかえて

紫波町
図書館長

ふじお ともこ
藤尾 智子



本が並ぶ図書館の中になると、静かに流れる音楽の中に混じって小さなささやきが聞こえてきます。古今東西の時空を超えたあまたの眩きに耳を傾ける心地よい時間。図書館に住む不思議な何かが息を潜めているのでしょうか。新しい「知」と出会い、知ること、もっと知りたくなる、もっと多くの情報の中へ飛びだしたいと願う人の背中をそっと押してくれる力を感じます。

この記念誌をまとめるにあたり、これまでの出来事に、人と情報、人と人を結ぶための工夫が詰まっておりますことを感じていただければ幸いです。その中から、あらためて、図書館を使いこなす事例をご紹介します。

- 産直マルシェには『この野菜を使ったレシピ本あります』といったポップがあります
⇒図書館で本を借りる⇒今まで無かったメニューが食卓に上がり家族みんなで楽しむ。
- 図書館で気に入った楽曲の楽譜を借ります⇒音楽スタジオで仲間と練習⇒複数の仲間に出会う⇒交流ステージで発表⇒大スタジオでコンサートを開催。
- 図書館で手仕事の本に出会う⇒たくさんの作品ができる⇒オガールでの「市」に出店
⇒地域の朝市等へ出店を広げる⇒新しい手仕事になる。
- 地図にない場所をさがしたい⇒たずねに図書館にくる⇒場所と由来を調べる⇒友人と出
かけ地域の風土・歴史を発見。
- 紫波町の花や鳥や虫を紹介した企画展示⇒子どもが実物を見たくなる⇒外で昆虫採集を
してみた。

これからも図書館を利用される方のみに関わらず、皆さんが生活を楽しみ、ご自身の新しい創造を広げ、新しい世界へとつながれる皆さんの未来を創るパートナーとして、多くの情報が手に入れられ、地域の人々がつながる拠点でありつづけたいと思います。

最後に、図書館ができることを熱望していた市民の皆さんの熱い想い、その期待を裏切らない使命感を持った職員たちの存在、持続可能性と機能性を極限まで追求したオガールプロジェクトを担っていただいたみなさんに感謝申し上げ、今後とも、ご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。



紫波町図書館10周年記念誌

発行日	令和5年3月28日
発行	紫波町
編集	紫波町図書館 〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅2丁目3番地3 オガールプラザ中央棟1F Tel 019-671-3746 (みんなよむ)
表紙型染絵	小田中耕一
挿絵	あまのさくや
写真	いとうゆい
DTP	録繙堂出版
印刷所	有限会社ヤマダスピード製版



紫波町図書館HP

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、紫波町図書館から許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で転用、複写、複製をすることを禁じます。

© 2023 SHIWA PUBLIC LIBRARY All Rights Reserved. Printed in Japan.